

MUJINTO

The Alumni Association of Otani University

2015年9月  
No.140

無 書 燈

大谷大学同窓会



大谷大学と私



鈴木幹雄先生に  
インタビュー

「念仏の声を  
背に聞きながら」

本学で30年あまり教鞭をおとりいただいた鈴木幹雄先生に、尋源館でお話を伺いました。

▶先生は東北大学で学ばれ、また教鞭も取られました。その後、大谷大学とのご縁をもたれましたが、はじめて本学に来られてどのような印象をお持ちになりましたか。

東北大学時代にお世話になった先生の紹介で、大谷大学に着任することになりました。1974年のことです。はじめ大谷大学がどのような大学なのか、またどこにあるのかさえも知りませんでした。今よりもっと南に位置していた正門から入ると、豊かな緑が目前に広がり、自然豊かな大学であるという印象を受けました。驚いたのは、真宗学・仏教学の先生が羽織り袴姿で、講義の時には聖教に一礼する。身だしなみをきちっとしておられる先生方を見て、まだこういう雰囲気のあるのかと強い印象を受けました。

当時の学長は、真宗学の松原祐善先生であり、大学について詳しく説明をいただきました。西田幾多郎や波多野精一が出講されていることなどをお聞きし、哲学が大切にされている大学であるということをお聞きいただきました。

▶先生のご専門と哲学科でのお仕事について教えてください。

もともとは歴史に興味があり、歴史家になりたいという思いもあったのですが、大学では哲学の一分野である倫理学を専攻しました。そして、ベルクソンの『創造的進化』を読んでおもしろいと思い、卒業論文では『時間と自由』をテキストにしてベルクソンの自由の概念

をテーマにして書きました。その後も、ベルクソンが私の研究の中心となりました。大谷大学の哲学科には、西洋哲学と倫理学と宗教学の3つの分野がありましたが、着任当時から倫理学分野を担当し、2年生の基礎講読、3、4年生のゼミ、そして大学院の倫理学専攻の学生指導に当たりました。

教育の面で私がこころがけたことは、学生が哲学の門に入る手伝いをするということです。学生が原書をきちんと読むのは大変ですので、翻訳でいいのでヨーロッパの哲学書を読み、自分なりに考え、文章を書くという訓練をさせるように心がけました。一例を挙げれば、デカルトの『方法序説』やベルクソンの「形而上学入門」など最後まで読み切れるものを用いて、読書の訓練と作文の練習をさせました。

哲学科の教員は非常にチームワークがよく、研究や教育の面でそれぞれの役割を果たされていましたが、私は、学生のために哲学入門の手ほどきをする役割を意識的に担うようにしました。また、大学が忙しくなるまでは、毎年、学科主任が企画をして、春期休暇中に教員同士一緒になって一泊旅行にも行きました。15、6年は続いたでしょうか。

▶先生は大学で真宗に関わるお仕事もされています。そのこともお聞かせ下さい。

学生時代には教養として、倉田百三の『出家とその弟子』、亀井勝一郎の『親鸞』などを読みまし、高校のときの先生の紹介で金子大榮の『歎異抄聞思録』も読んだことがあります。親鸞や道元など仏教に対する関心はありました。けれども、「浄土真宗の学場」である大谷大学では、生半可な態度で関わることはやめておこうと心に決めていました。大学の教員として間違ったことを語ってはいけなかったからです。仏教・真宗に対する研究をあえて自粛しようとしたと言ふべきでしょうか。今は少し後悔していますが。

ところが、廣瀬杲先生が学長になられたとき、1976年に「近代における真宗の展開」という総合研究に加わるように命じられました。私は、専門外であるからお断りしたのですが、廣瀬先生は、むしろ何も知らない立場から意見を述べて欲しいと言われたので、断れなくなってしまったのです。そこから研究会の課題に即して、真宗学の本を読むようになりました。これは都合6年続くのですが、その後、1985年から「真宗学事研究」に続き、ここで大学史編纂のための予備的作業を行いました。

私的なところでは、寺川俊昭先生を囲んで、親鸞の『教行信証』を読むという勉強会も行いました。これは、ドイツ文学の大河内了義先生の主導によって進められ

た勉強会です。『教行信証』を通読するという目的をもって始まったその会には、仏教学、哲学、宗教学、社会学など当時のそうそうたる先生方が集まりました。専門の垣根を越えて、親鸞の思想を学ぼうとするその会は、専門外から思いがけない質問や見解が出るなど、実に刺激に満ちていて、ぜいたくな研究会でした。また、会が終わってからのお酒を飲みながらの雑談も、私にとっていい勉強になりました。ずいぶんいい思い出です。

この会は1997年の春から10年続きましたが、ちょうどその時期に重なるように、ドイツのマールブルク大学からの申し出を受け入れて共同シンポジウムが開かれ、そこで初めて真宗とプロテスタンティズムとの対話という新しい試みが行われました。これの実現には、『教行信証』を読む会での経験が生かされたのではないかと思います。

▶学生との関わりについて印象に残っていることはありますか。

私は学生時代、よく先生のお宅に伺ったことがあるのです。先生が「訪問日」というものを設けておられまして、卒業生でも講座の同僚でも学生でも誰でも参加していいのです。これが貧乏な学生にとっては非常にありがたい催しであり、先生はグラスにいろいろなお酒を出してくれました。

私も大谷大学に来てから、学生が訪ねたいと言ってきたときには家に迎えて、すき焼きを食べて、一杯飲

んでという会をするようになりました。その後、池上哲司先生と相談して、ゼミの枠を越えて、倫理学分野で新年会をするようになりました。学生同士誘い合っ、京都に残っている2年生から3、4年生までが参加しましたが、多いときには総勢25、6人が居間に詰め合っ、何とか会が開けるのです。この会はしばらく続きました。

初めて大谷大学に来たときに出会った人たちとは、卒業後の今でも付き合いがありますし、ゼミ以外の学生でも、一緒にお酒を飲んだりした人たちとは今でも親しいですね。

▶最後に大学に対する思いをお話し下さい。

私は一番いい時期に大学で過ごさせてもらったと思っています。教員も学生も、余裕があり、遊びがありました。好きな本を読み、ときには囲碁や将棋や麻雀もする。今は、遊ぶような余裕がないでしょう。この20年ぐらいで大学の雰囲気が変わってしまったのではないのでしょうか。社会情勢がそれを許さないという事情があるのですが、余裕がないというのは大学としてよくないと思います。余裕があるからこそ、専門分野を越えた交流がおのずと生まれ、そこから新たな発想が生まれる。教員も学生も専門分野の枠の中に閉じこめるのではなく、交流が生まれるような環境であるのが、大学として望ましいと思います。

〔略 歴〕	1985年 大谷大学教授	「時間の実存性をめぐってーバルクソン研究ノート(2)ー」
1941年 東京都に生まれる	1995年 学生部長	「道徳の源泉に向けて」
1965年 東北大学文学部卒業	2007年 大谷大学退職	「許しについて」
1968年 東北大学大学院修士課程修了	現在 大谷大学名誉教授	「悪についてー「わるい」から「悪」へー」
1971年 東北大学大学院博士課程満期退学	〔論 文〕	「犠牲と自尊心」
1971年 東北大学助手	「バルクソンの自由論の一側面」	他論文 多数
1974年 大谷大学専任講師	「持続と時間ーバルクソン研究ノート(1)ー」	
1977年 大谷大学助教授		

鈴木幹雄先生へのコメント 「知への愛」の二源泉 大谷大学准教授 藤枝 真 (宗教学・哲学)

バルクソンをはじめとするフランス哲学の研究を専門としていた鈴木先生は、またあらゆる種類の書物を渉猟し読破するビブリオフィルでもある。先生が担当されていた頃の大学院合同ゼミは、年間10冊の哲学書を全員で読んでいくスタイルであり、そこでのご指導はまさに先生の書物への広い関心と愛とが十全に反映されたものであった。ときに院生がテキストのあやしいな解釈を披露すると、先生からは、「どうしてそういうことになるの?」と、穏やかながらも手厳しい追究が飛んできたものだった。

その先生の研究室は、夕方の6時を過ぎる頃になると、“Salon de Suzuki”へと姿を変えた。授業や校務が一段落したこの時間帯には、示し合わせずとも教員や院生が集まってきて歓談したものである。様々な研究分野の人たちによるリラックスした「知的交遊」から実に多くのことを学ぶことができたのも、鈴木先生がそのお人柄とセンスによってサロンの雰囲気を醸成していたことによると思っている。そしてもちろん、ここで学んだ最大の教訓は、“In vino veritas” (酒中に真あり) である。



藤枝 真 博士 (文学)  
2001年3月 大谷大学大学院博士後期課程哲学専攻満期退学  
2001年4月～2002年3月 大谷大学特別研修員  
2002年4月～2003年3月 大谷大学任期制助手  
2005年4月 大谷大学講師  
2009年4月 大谷大学准教授

# 大谷大学本部キャンパス総合整備計画の進捗について

大谷大学は、教育・研究力のより一層の充実を図り、学生が主体的に学ぶことができる新しい環境づくりを目指して、2018年完成を目途に、新教室棟の建築を含めた本部キャンパスの総合整備に着手しています。

建築の概要については、既に『無盡燈』139号に掲載するとともに、大谷大学ホームページにおいても最新情報を掲載しておりますので、ご参照ください。

## (仮称) 新教室棟の計画概要

### 1. 取り壊し対象建物

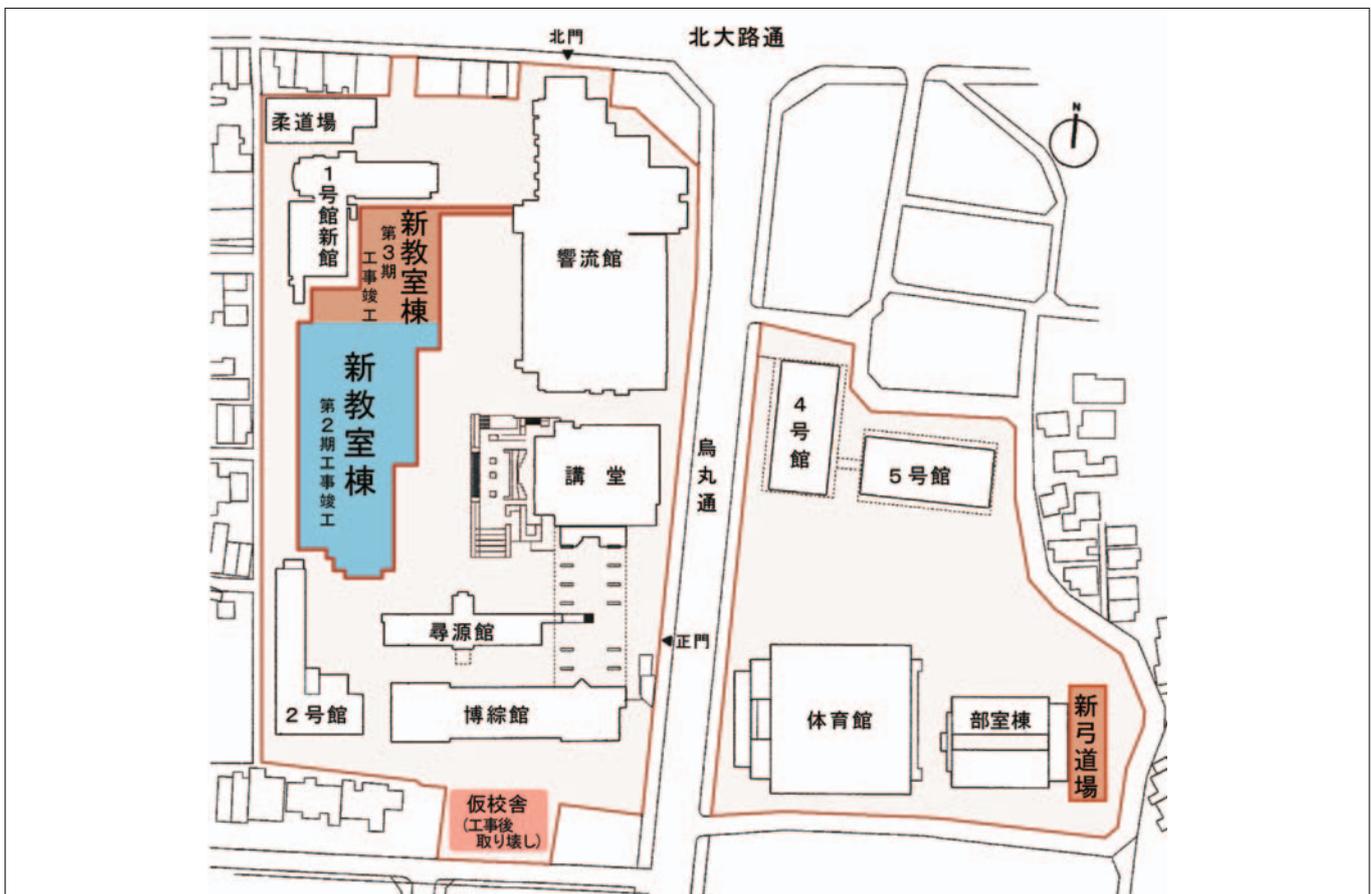
- 聞思館・至誠館・3号館・弓道場 (2期工事)
- 1号館旧館 (3期工事)



工事前キャンパスの航空写真



工事前建物配置図



工事後建物配置予定図

※実際の竣工と異なる場合があります。

2. 建築面積 4,096.74㎡
3. 延床面積 14,593.53㎡
4. 建物高 19.52m
5. 構造・階数 鉄骨造/地上5階建
6. 構成等
  - 1 F 学生ロビー/学生支援部事務室  
大教室/学習支援室/語学学習支援室/  
文藝塾
  - 2 F 大教室/中教室/交流(マルチ)スペース、
  - 3 F 大教室/中教室/小教室/情報系教室/  
高機能教室/交流(マルチ)スペース
  - 4 F 中教室/小教室/個人研究室/交流(マ  
ルチ)スペース/響流館(図書館・総合  
研究室)連結ブリッジ
  - 5 F 小教室/個人研究室/交流(マルチ)ス  
ペース
7. 工事期間 2014年6月~2018年3月
  - 1期工事 2014年6月~2014年8月(仮校舎  
他)  
2014年10月~2015年3月(新弓道  
場他)
  - 2期着工 2015年4月(解体・新築工事)
  - 2期竣工 2016年9月(中央・南エリア/オー  
プン)
  - 3期竣工 2018年4月(北エリア/グランド  
オープン)
8. 設計・監理 株式会社日建設計
9. 施工 大成建設株式会社

#### 事業予算

1. 建築事業費概算 68億円
  - ①建築工事費(新教室棟・新弓道場・仮校舎そ  
の他) 49億8,555万円
  - ②什器・備品・AV・LAN・設計監理費・消費  
税他 18億1,445万円
2. 資金計画
  - ①大学自己資金 53億7,000万円
  - ②日本私立学校振興・共済事業団借入金 5億円
  - ③文部科学省学校施設耐震改築工事補助金 3億3,000万円
  - ④寄付金募集目標額  
(2015年度~2018年度) 6億円
 

内訳	真宗大谷派	2億円
	大谷大学同窓会	2億円
	大谷大学教育後援会・大学教職員他	2億円

#### 募金について

大谷大学キャンパス総合整備・(仮称)新教室棟建築工事の趣旨をご理解・ご賛同いただくとともに、広くその募金(寄付)にご協力くださるようお願いいたします。募金の詳細は、募金趣意書(同窓会用)をご覧ください。

#### 直近の動き

2015年7月3日(金)午前10時より、建設予定地を会場に、起工式を執り行いました。

本部キャンパス総合整備計画は、2期工事竣工2016年9月(中央・南エリア/オープン)、3期工事竣工2018年4月(北エリア完成/グランドオープン)に向け、2期工事が始まっています。

#### 本計画の情報公開

大学ホームページに「本部キャンパス総合整備計画」の専用サイトを立ち上げていますので、ご高覧ください。

大谷大学ホームページ/キャンパス総合整備計画  
<http://www.otani.ac.jp/buildup>

#### 大谷大学弓道部OB会が教育振興資金としての寄付を行う



弓道部OB会より寄付金目録贈呈

4月30日(木)、大谷大学弓道部OB会を代表されて会長の細川好円氏、事務局の伊東恵深氏、春近央氏が本学を訪問され、500万円のご寄付をされました。

細川氏からは「自分たちが学生の頃に比べ、現在の学生は図書館をはじめ恵まれた環境で学問ができている。卒業後にそのありがたさが分かる時が必ずあるので、その便利さに頼らず真摯に学問研究に取り組んでほしい。」と後輩に向けて熱いメッセージをいただきました。弓道部OB会の皆様からのご寄付は、新弓道場を含むキャンパス総合整備のために使用されます。

# まなびや 変りゆく学舎

## 研究室と図書館と

今回キャンパスにおける総合整備計画の実施に伴い、旧図書館棟と書庫、及び研究室棟が取り壊されたのを機に、研究室と図書館の密接な関連についてその変遷の概要を振り返ってみたい。

最初は本学が京都市北区の現在地に移転開設した1913（大正2年）に遡る。尋源館はもと本館と呼ばれ、大学の中心であった。学長室・会議室などと共に学科の専攻分野に対応した真宗学／仏教学・印度学／日本仏教史学／東洋史学・支那学／哲学／国史学・国文学／西洋文学の7つの研究室が置かれ、図書館からの豊富な回付図書に囲まれて教員・学生が共に研究に勤しんでいた。



本館の共同研究室（昭和初期頃）



最初の図書館書庫と閲覧室（昭和30年）

本館と同時に建築された最初の図書館は、現在のサンクンガーデンの北西隅あたりにあり、土蔵造り三層の書庫と、階下に閲覧室階上に貴賓室と教員閱



最初の図書館閲覧室（昭和11年）

覧室を配した木造二階建ての建物と、両者を結ぶ事務室とで形成されていた。この閲覧室の建築費用は東本願寺の財閥信徒の一人岩田惣三郎氏が寄進した。後に書庫が狭隘となるに及んで、1941（昭和16年）、旧高倉学寮の書庫を移転し第二書庫として使用していた。

次に登場するのが、1961（昭和36年）親鸞聖人700回御遠忌を勝縁として建設された旧図書館であった。昨年度まで至誠館と呼ばれていたものが図書館の閲覧室と事務室である。収容力50万冊を誇る積層式五層の書庫の他、展示室や文献の複写も自前で行うための写真室を備えるなど先進的な設備を持っていた。ただ、図書の検索に関しては3分冊の書冊目録とカード目録を検索しなければ全体の検索が出来ないこと、貴重書の所蔵などのため完全閉架式であるなど不便もあった。また、研究の成果を広く一般に開放することを目指した講堂が付属し、更に図書館に



旧図書館閲覧室と書庫（昭和37年）



旧図書館閲覧室(昭和47年)



研究室棟の共同研究室(昭和40年頃)

は研究活動が不可欠であるとの考えから研究室棟(後の聞思館)が設けられていた。共同研究室としては本館から移転した真宗学/仏教学/哲学/国史学/東洋史学/西洋文学/国文学の7つと、後に教育学・社会学研究室が独立し8つの研究室体制となった。これら共同研究室には図書館から豊富な回付図書が設置されたことは、本館時代と同じである。また研究室棟の3・4階には個人研究室がおかれ、一室2~3名の相部屋ではあったものの本学として初めて教員の個人研究室が実現したのもこの時である。

尚、短期大学部には仏教科/国文科/幼児教育科の3科が開設されており、本館2階に研究室が置かれていたが、1978(昭和53年)に2号館が竣工するやその中に各研究室は完備された。

これら8研究室体制は学問の独立性を保持するものの、兎角閉鎖的になりがちであるという弊害が指摘されるようになり、学園総合整備計画のもと1981(昭和56年)に博綜館が建築されるに及び共同研究室は第一研(真宗学・仏教学)/第二研(哲学・社会学)/第三研(史学)/第四研(文学)の4群に再編され、これに6層の書庫が設置された。5階から2階に配置された4つの研究室群を6層の書庫を



博綜館の共同研究室(昭和59年)

通じて自由に行き来できることとし、文献も共有して異なる学問分野間の交流を促進しようという画期的な構造として構築されたのである。

この博綜館建築に伴い研究室棟の共同研究室は個人研究室に改築され、博綜館に整備された個人研究室と共に、教員一人一室の文字通り個人研究室体制がこの時実現された。

尚、1993(平成5年)に開設した国際文化学科は1号館に研究室を開設し、2000(平成12年)に開設した人文情報学科は情報処理教室に接してサポートルームを設け、現在まで継続している。

時は移り2002(平成14年)、近代化100周年記念・宗祖聖人750回御遠忌記念事業として響流館が建築されると、その中に現図書館が開設される。地下2層の書庫を擁し開架分と合わせ160万冊の収容力を誇る。約15万冊の開架式図書に加え、560席余の自由閲覧席を有し、全蔵書の検索の機械化を実現し、同時に地下書庫において自由検索を可能とするなど近代的な現図書館が実現したのである。

響流館内に開設されたすべての学科を網羅し一室とした総合研究室は、博綜館の4群6層の学問の総合化をより一層深化させ、研究室と図書館の連携もより強固なものになったと言うべきである。



響流館図書館閲覧室(平成14年)

(元図書館課長 稲垣淳造)

# 支部だより

## 埼玉支部より

【大学広報との連携 ～インド舞踊パフォーマンス in川越～】

埼玉支部長 一條 顕良



ショバ先生とインド文化研究会の方々

埼玉支部では、前支部長であった旦保哲夫氏の発願により、もう20年近くにわたり「支部巡回講演」（「大谷大学夏季八十講」）を一般公開講座として開催して参りました。それは、「自信教人信の誠を尽くすべき人物を養成する」という大谷大学開学の精神に、支部会員はもちろん一人でも多くの方々に触れていただきたいとのねがいに基づくものであったと記憶しております。しかしそうした取り組みの中で、「大谷大学ってどこにあるんですか？」という声を少なからず聞き、関東・埼玉における大谷大学の知名度の低さに忸怩たる思いを持つものでした。

そのような折、ある同窓会の会合にて「関東にて大谷大学の知名度アップにつながる活動を行っていききたいものです」というお話をいただきました。そこで「近年観光化が進み人出の多い埼玉・川越にて大学の情宣活動をしてみませんか」と提案したところ、あれよあれよという間に企画が動き出し、標題の如く、国際文化学科のショバ先生をリーダーとする「インド舞踊パフォーマンスチーム」の来川につながりました。このことは、大谷大学の埼玉でのアピールに少なからずなったのではないかと考えております。

また、こうした「大学（広報）との連携」を通じて、現役の学生さん達に、同窓会はこうした活動へのサポートが出来ることを知っていただく機会となったかとも思いました。今回の企画における課題を今一度精査して、今後も多くの支部会員をまきこみながら、大谷大学の知名度アップ、現役学生さん達との交流、そしてさらには「大谷大学の精神（こころ）」を少しでも伝えていくことのできる支部活動をおこ



インド舞踊の発表

なっていければと念願しております。

最後になりましたが、かなりハードなスケジュールの中、埼玉までお越しいただいたインド舞踊チームの皆様、また今回の企画実現の為に奔走して下さった職員の皆様に、厚く御礼申し上げるものです。

## 福岡支部より

福岡支部長 轡水 良夫



当支部（会員数144名内寺院関係約30%弱）においては、夏季八十講が始まって以来、会員の寺院を廻って、公開講座・同窓会支部総会を開催しておりましたが、在家同窓生の出席が非常に少なく

5%以下という現状であります。その為、事務局を立ち上げ数回協議を重ねた結果、数年前より、より多くの同窓生に出席願う為に案内状を2通り（2ヶ月前予告案内・1ヶ月前正式案内）出しています。又返信用には、出席・欠席を問わず講座・総会についての御意見・近況等を書いてもらったり、アンケートに答えていただくようにしています。又公開講座の折にも受講者の方々にもアンケートに答えてもらっています。その結果、寺院以外の会場、週末に開催してほしいとの要望があり、協議により数年前より期日・時間を9月の第1土曜日の午後に開催する事に決定し、会場を前回より交通事情の良い中心地に移し、同窓生だけでなく一般の方々にも受講していただきやすい所に変更し、多数の人々の目に注ぐ仏具店等にポスター・チラシを配布し、又新聞の催しコーナーに載せたりして公開講座をアピールしています。講座の折には、大谷大学とはどのような大学であるか知らない方がおられますので、大学のパンフレットだけでなく、若手同窓生より生の声で大学紹介をしてもらったりしております。公開講座・総会終了後会場を移して和気藹々の懇親会を開いております。



福岡支部（仏教公開セミナー）

## 母校だより

### 赤レンガ賞授与式

2013年度に創設されました「赤レンガ賞」の授与式が、2015年3月18日に執り行われました。

この表彰は、学生時代に様々なことにチャレンジし、結果を残してきた学生を表彰する機会を設けたいという教育後援会の思いからはじまり、今回で、2回目の表彰となりました。

今年度も、学内外を問わず多くの学生の活躍が見受けられ、中でも特に優秀な結果を残した4名が表彰されました。

受賞されたのは、小泉風磨さん（歴史学科第4学年）、笠松順さん（教育・心理学科第4学年）、太田啓介さん（歴史学科第3学年）、池口風沙さん（国際文化学科第2学年）です。

小泉さんは、「第40回スポーツチャンバラ選手権大会」に出場し、団体戦の打突競技部門において優勝しました。

笠松さんは、ドッジボール男子日本代表として「第2回アジアカップ」に連続出場し、二連覇し

ました。その功績により、「京都市スポーツ大賞（個人）」と「京都府スポーツ大賞（優秀賞・個人）」を受賞しました。

太田さんは、「2014年度学生王将戦」に出場し、全国10位という成績を収めました。

池口さんは、「第46回全日本大学個人ボウリング選手権大会」に京都府の代表として出場し、7位入賞を果たしました。

授与式では、三村智子教育後援会会長より、4名それぞれに励ましの言葉を添えて、表彰状と奨励金が授与されました。



「赤レンガ賞」受賞者と教育後援会役員・大学執行部

### 課程博士の学位を授与

2014年9月30日の2014年度前期学位記授与式において、博士後期課程修了者に「博士（文学）」の学位が授与されました。学位取得者は、稲葉維摩氏（仏教学）、林研氏（哲学）、今西智久氏（仏教文化）の3名です。



（左より）稲葉維摩氏、今西智久氏  
＜林研氏は欠席＞

また、2015年3月18日の学位記授与式においては、博士後期課程修了者に「博士（文学）」の学位が授与されました。学位取得者は、難波教行氏（真宗学）、中山量純氏（真宗学）、橋本彰吾氏（真宗学）、金建峻氏（仏教学）、嘉村誠氏（仏教文化）、李曼寧氏（仏教文化）、渡邊温子氏（国際文化）の7名です。



（左より）難波教行氏、中山量純氏、橋本彰吾氏、渡邊温子氏＜金建峻氏は欠席＞



（左より）嘉村誠氏、李曼寧氏

### 人事

（2014年8月1日～  
2015年7月31日）

#### 部科長等の交代

[学生部長]

福島 栄寿

（前学生部長 鈴木 寿志）

[入学センター長]

村山 保史（再任）

[大学院文学研究科長]

村瀬 順子

（前大学院文学研究科長 高井 康弘）

2015年4月1日付（各通）

#### 館長等の交代

[学寮長]

山田 恵文

（前学寮長 藤元 雅文）

2015年4月1日付

### 退職

#### \* 定年退職

[教育職員]

飯田 剛史（教授・文学部）

谷 真理（教授・短期大学部）

安井 喜行（教授・文学部）

鷺田 清一（教授・文学部）

[事務職員]

宇津木秀司 (企画・入試部)  
日野 純悟 (教育研究支援部)  
2015年3月31日付 (各通)

\* 契約期間満了による退職

[教育職員]

川村 覚昭 (特別任用教授・文学部)  
小川 健一 (任期制講師・文学部)  
亀田十未代 (任期制講師・短期大学部)  
川端 泰幸 (任期制講師・文学部)  
金 京子 (任期制講師・文学部)  
足立 和彦 (任期制助教・文学部)  
安藤 秀幸 (任期制助教・文学部)  
上原 永子 (任期制助教・文学部)  
大艸 啓 (任期制助教・文学部)  
木島菜菜子 (任期制助教・文学部)  
難波 教行 (任期制助教・文学部)  
古荘 匡義 (任期制助教・文学部)  
森 雅子 (任期制助教・文学部)

[事務系嘱託]

加藤 里亜 (企画・入試部)  
北村 悦子 (教育研究支援部)  
塚本 祥子 (学生支援部)  
野村 弘道 (学生支援部)  
野邑 理香 (総務部)  
前原利佳子 (総務部)  
松尾 奏子 (企画・入試部)  
松林 美香 (総務部)

[寮監]

長松 真見 (貫練学寮)  
林田真貴子 (自灯学寮)

[教職アドバイザー]

西寺 正

[学習支援アドバイザー]

太田 露子  
2015年3月31日付 (各通)

\* 依願退職

[教育職員]

天野 勝重 (准教授・文学部)  
野中 亮 (准教授・文学部)

赤枝香奈子 (任期制講師・文学部)  
林 誓雄 (任期制助教・文学部)  
2015年3月31日付 (各通)  
中井 信介 (任期制助教・文学部)  
2015年7月31日付

[事務職員]

谷本 雅亮 (総務部)  
2014年11月30日付  
山岡 朝子 (学生支援部)  
2015年5月31日付

[事務系嘱託]

岩本 恵 (総務部)  
2014年8月31日付  
高峯 章子 (総務部)  
2014年9月30日付

新規採用

[教育職員]

田中 潤一 (准教授・文学部)  
2014年9月1日付  
森田 裕之 (教授・文学部)  
野村 明宏 (准教授・文学部)  
鎌谷 勇宏 (講師・文学部)  
川端 泰幸 (講師・文学部)  
コンウェイ マイケル J.  
(講師・文学部)  
飯田 剛史 (特別任用教授・文学部)  
小川 健一 (特別契約講師・文学部)  
小川 晴美 (任期制講師・短期大学部)  
鄭 祐宗 (任期制講師・文学部)  
渡邊 拓也 (任期制講師・文学部)  
稲葉 維摩 (任期制助教・文学部)  
佐々木 拓 (任期制助教・文学部)  
関本 真乃 (任期制助教・文学部)  
田鍋 良臣 (任期制助教・文学部)  
種子田 香 (任期制助教・文学部)  
中山 量純 (任期制助教・文学部)  
長谷川雄高 (任期制助教・文学部)  
藤原 美沙 (任期制助教・文学部)  
渡邊 温子 (任期制助教・文学部)

[事務職員]

荒川 咲 (学生支援部)  
澤田 智美 (学生支援部)  
高橋 法子 (総務部)  
辻野皓一郎 (学生支援部)  
野村 弘道 (総務部)  
2015年4月1日付 (各通)

[事務系嘱託]

熊谷亜雅紗 (学生支援部)  
2014年10月1日付  
井上 輝美 (教育研究支援部)  
大下 志保 (総務部)  
大橋 宏子 (学生支援部)  
掛江 美里 (総務部)  
唐崎加奈世 (企画・入試部)  
中井 裕美 (学生支援部)  
宮野 智 (総務部)  
村田奈緒子 (教育研究支援部)  
梁 順蓮 (総務部)  
2015年4月1日付 (各通)  
樋口 孝司 (教育研究支援部)  
2015年7月1日付

[寮監]

小和 慎平 (貫練学寮)  
稲岡 智子 (自灯学寮)

[教職アドバイザー]

須川 和幸  
美濃部俊裕

[学習支援アドバイザー]

古荘 匡義  
2015年4月1日付 (各通)  
松永 歩  
2015年5月1日付

[地域連携アドバイザー]

森本 純代  
2015年4月1日付

昇格

[教授]

市川 郁子 (文学部)  
柴田みゆき (文学部)  
2015年4月1日付 (各通)

## 大屋憲一名誉教授を偲んで



本学名誉教授の大屋憲一先生が今年1月23日、89歳でご逝去されました。永年大谷大学を愛し、いつも慈悲に満ち、自信教人信の誠を尽くして多くの学生をご指導いただいた学恩を思うとき、哀悼の念と同時に、深謝の念を禁じえません。

先生は1925（大正14）年福岡県久留米市に生まれ、1953年3月大谷大学文学部をご卒業になられた。その間、とりわけ、大学入学前に3年にわたってシベリア抑留生活の限界状況を生き抜いてこられたことは、先生にとって生涯重大な意味をもつ出来事であった。それは、生き方・人生観、世界観、学問と教育など先生の生のあらゆる領域を貫いて、それらを根底から方向づけた根本体験と言ってよいであろう。

先生は大学では学部・大学院共に仏教学を専攻され、その後研究領域を広げ宗教学へと進まれたが、先生の学問的・人間的関心は常に「自身の実存への実存的究明」であった。それは、先生の講義のテーマや演習のテキスト、

研究論文などからも窺いうる。端的に言えば、先生の生涯のお仕事は「宗教的実存思想の探究」・「機の深信への問い＝聞信の行学」ともいうべきものであった。先生のご著書『キェルケゴールと日本の仏教・哲学』、主論文の「キェルケゴールにおける『総合』の批判」はそれを示唆している。

先生は1991年3月退職され、4月に名誉教授となられた。その後は、晩年まで御宅で有縁の同志と月一度の聖教輪読会を何よりも大事にまた楽しみにされていた。50年にわたる先生との親交を顧ると、今はただ感謝の念を深くするばかりである。

大谷大学名誉教授 築山 修道

## 片岡了名誉教授を偲んで



本学名誉教授である片岡了先生が2015年1月12日逝去された。享年79歳であった。

先生は1935年6月に北海道にお生まれになり、大谷大学国文学科卒業、大学院をへて、1964年4月本学助手に着任され、以降2001年3月に定年退職さ

れるまで40年近くにわたって本学で教鞭を執られた。その間、真宗総合研究所長の要職に就かれ、大学運営にも貢献された。

先生のご専門は、中世の国語学と仏教文学で、1998年に博士（文学）の学位を取得された。ご研究は、学位論文を上梓された『沙石集の構造』（2001）、『大谷大学本節用集研究並びに総合索引』（1982）の中世古辞書の研究、蓮如『御文』などの仮名法語の解明という、三つに大別され、学界に裨益するところは大きい。

なお、『真宗聖典』の編纂と国宝『浄名玄論』の翻刻も貴重なお仕事であった。前者は東本願寺が初めて『真宗聖典』の編纂に責任をもって公刊したも

ので、本多弘之氏と先生が中心になって膨大な作業を進められたといい、後者は平安期の本文に付された鎌倉期の墨点を翻刻されたのである。

国語学と仏教文学への強いご関心は、恩師多屋頼俊氏の教えを継ぐもので、その関連で仏教文学会に寄与されたほか、学内誌「文藝論叢」の運営にも貢献された。学問には厳しい先生であったけれど、お酒に強く、歌もお上手だったとか、物にこだわらぬ愉快なお人柄とお見受けした。

先生の長年のご指導とご学恩に深謝申し上げるとともに、謹んで哀悼の意を表する次第である。

大谷大学准教授 赤瀬 知子

## 谷眞理先生を偲んで



2015年4月16日に谷眞理先生が還浄された。享年65歳であった。定年までのお仕事を終えると、すぐのことであった。御自坊にお別れに上がったが、私の頭の中には、一か月ほど前に伺ったときには、「年末よりも元気になった」と微笑んでいた先生のお顔が巡って、何とも腑に落ちなかった。しかし座敷に横になっているお姿には、私の思いなどは露程も受け付けず、厳と

して肅とした事実があった。「長い間友人としてお導きを頂き、有難うございました」とお礼を申し上げた。

想えば先生は、松原祐善先生のゼミで博士課程まで共に学んだ同級生である。当時から先生は超優等生で、学部の卒業論文が『親鸞教学』に掲載されたほどであった。元々、長崎の興正派の末寺の次男に生まれたが、博士課程が終わる頃に御自坊である大谷派の眞光寺に入寺された。「将来の宗務総長を大谷派に取られた」と、興正寺の方々によく恨み事を言われたものである。それほど将来を囑望された方であった。

先生の親鸞教学は、師である松原先生のそれを受け継ぎ、ひたすらご自分の信心を正直に内観して、それを公開していく事であった。特にこの世で差別を受けてきた人々に同感し、親鸞の

信心によって、差別を超えた人間の尊厳を明らかにしようとしたのである。その姿勢は、実直で質朴で、愚直なほど真面目であった。

東本願寺の同和推進本部で長年研究を積んでこられたのであるが、十年ほど前に大谷大学に招聘され、人権センターの責任を担って頂くと共に、教師課程の学生の養成、さらには眞宗学のゼミで学生をお育て頂いたことである。激務でお体を顧みる暇さなかつたのであろうと、今になって悔やまれる。

法名は先生らしく、院号など何もない積眞理であった。先生の訃報を聞いた多くのゼミの学生たちが、人知れず涙を流していたことを、私はよく知っている。

大谷大学特任教授 延塚 知道

## クラブ紹介



茶道部の稽古風景

### 茶道部の活動

こんにちは、大谷大学茶道部です。私たちは現在1回生3名、2回生4名、3回生4名の計11名で活動しています。活動内容は、1回生は主に帛紗さばきなどの割稽古や家元稽古に向けての客の稽古、盆略点前の稽古をしています。2～3回生は主に薄茶点前の稽古で、4月から10月にかけては風炉、10月末から3月にかけては炉を使って稽古をします。5月半ばからは週に一回、裏千家の家元にて稽古をつ

けていただきます。家元では3～4人しか薄茶点前の稽古をつけていただくことはできませんが、その日に出されたお菓子の名前や由来、床に飾られた花にまつわる話や掛け軸の話など、稽古だけでなく様々なことを教えてくださいます。

年に2回は茶道部のOBの方や他大学の茶道部を招いて茶会を行っています。今年は7月上旬に京都御苑の拾翠亭にてOBの方と前顧問の方を招いて夏季茶会を行う予定です。2回目は未定ですが秋に行おうと考えています。

また今年は外部からの要請で、4月下旬に北大路ビブレでお茶会を開かせていただくことができました。商業施設でのお茶会のため通常よりも大変忙しい茶会でしたが、いい経験をさせていただくことができました。

来年は茶道部65周年を記念して記念茶会が行われる予定となっています。よい茶会ができるように頑張っていきたいと思います。

大谷大学茶道部 杉生 寿恵

### 「歌うことが大好き、混声合唱団」

卒業生の皆さま、こんにちは、大谷大学混声合唱団です。男子27名・女子25名の計52名で活動を行っています。私たちは歌うことが大好きで、合唱曲からJ-POPの曲または外国語の曲など、様々なジャンルの曲を歌っております。

普段の活動は毎週火曜日、木曜日、土曜日の週3回の練習を基本的には大谷大学のラウンジにて行っています。また、入学式や親鸞聖人御命日勤行、開学記念式典などの学校行事にも参加しております。

2015年6月21日（日）には京都市東部文化会館にて、サマーコンサートを開催いたしました。今回のサマーコンサートでは花園大学混声合唱団とのジョイントコンサートを行い、たくさんの方々に演奏会に来ていただきました。

現在、団員は2015年12月13日（日）、京都府立文化芸術会館における定期演奏会に向けて、合宿なども行い日々練習に励んでおります。定期演奏会は私たちがこの1年間活動してきた集大成となる演奏会であり、お客様に楽しんでもらえる演奏会となって



混声合唱団の団員

おりますので、よろしければ私たちの合唱を聴きにきてください。

また、他大学の合唱団との交流も盛んに行っており、これからの活動にも意欲的に取り組んでいきたいと思っておりますので、今後とも、混声合唱団をよろしくお願いいたします。

大谷大学混声合唱団 辻 優斗

## 教育振興資金(募金)への御礼

大谷大学・大谷大学短期大学部では、教育研究環境の一層の充実を図るために「教育振興資金局」を設置し、募金活動を行っています。このたびはご協力いただき誠にありがとうございます。ご寄付いただきました資金は、教育・研究の充実を図るための環境整備に充ててまいります。なお、本学は文部科学大臣から、特定公益増進法人の証明(所得控除制度)と並びに税額控除に係る証明(税額控除制度)を受けていますので、寄付者の選択により、どちらか一方の税法上の減免税措置を受けることができます。

今後も引き続き、募金のお申し込み受け付けを行っておりますので、ご支援賜りますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。2014年8月1日から2015年7月31日までの間に、ご寄付をいただきました方々のご芳名は次のとおりです。厚く御礼申し上げます。

◆件数 104件  
◆寄付金総額 3,880,000円

2014年度分〔教育振興資金寄付者(敬称略)〕(2014年8月1日～2015年3月31日)

相場 行宣(新潟県) 青木 智了(福岡県) 秋友 伸二(香川県) 浅田 純(長崎県) 井深よしみ(岐阜県) 今川 定一(京都府)  
上野 純(愛知県) 小川 一乗(北海道) 小野内悦二郎(京都府) 嵩 知明(福岡県) 門脇 洋司(鳥根県) 加納 達巳(福井県)  
上谷 則行(兵庫県) 河尻 美佳(石川県) 木越 千里(京都府) 日下 啓洋(愛知県) 小泉 徹弥(兵庫県) 古結 直幸(兵庫県)  
越本 達了(大阪府) 佐長 光祥(香川県) 櫻木 証(大分県) 佐々木紫織(岐阜県) 白木澤建生(宮城県) 新川美由紀(香川県)  
須川 裕二(京都府) 竹松 杉人(長野県) 田治 和実(福井県) 千葉 猛(北海道) 土橋 賢治(大阪府) 中田 剛(石川県)  
中村 浩(岡山県) 愛徳 誓城(石川県) 馬場 重彰(京都府) 林 和豊(滋賀県) 林 眞通(茨城県) 藤村 恵子(静岡県)  
藤本 和枝(大阪府) 藤本 浄信(鳥根県) 藤原葉一郎(京都府) 布施 憲一(奈良県) 牧田 圭司(京都府) 真継 秀雄(京都府)  
松山 公顯(愛知県) 棟長 照夫(滋賀県) 矢加部和子(福岡県) 矢頭 恵造(山梨県) 讓 西賢(岐阜県) 吉川 一憲(岐阜県)  
リンダ・ウィットッド 和田 実(愛媛県)

祐石間企画事務所(東京都) NPO法人 尋源舎(京都府) 正覚寺[鳥添 信生](福岡県) 真宗大谷派長浜教区第十五組坊守会(滋賀県)  
相山合資会社(東京都) 匿名(個人25件、団体3件)

◆件数 83件  
◆寄付金総額 3,110,000円

2015年度分〔教育振興資金寄付者(敬称略)〕(2015年4月1日～2015年7月31日)

岩本 三郎(京都府) 勝間 靖(岡山県) 穴戸 廣宣(京都府) 中島 正英(京都府) 中村 大立(鹿児島県) 秦 康昭(神奈川県)  
舟橋 尚哉(愛知県) 三村 真寛(大阪府) 森川 善照(大阪府)  
大谷大学同窓会三条支部(新潟県) 匿名(個人11件)

◆件数 21件  
◆寄付金総額 770,000円

※キャンパス総合整備・新教室棟建築資金としてご寄付をいただいた方のお名前については、別途寄付者名簿を作成する予定です。

【お申し込み/お問い合わせ先】教育振興資金事務局

京都市北区小山上総町 大谷大学校友センター内 TEL: 075-411-8124

## 2015年度後期 大谷大学「生涯学習講座」のご案内

大谷大学では、本学の知的財産を広く一般社会に公開するため、「生涯学習講座」を開講しています。2015年度後期は、本学の研究領域を深化させながら学んでいく「開放セミナー」、本学の研究領域を分りやすく学ぶ「紫明講座」を行います。ぜひ、母校 大谷大学で「生涯学習講座」を受講ください。お待ちしております。

### 開放セミナー

講座名	講師	開講日・時間	定員	会場	受講料	申込締切
シリーズ『教行信証』の思想 ④「信巻」を読む	藤元 雅文 大谷大学 講師	2月10日(水)・2月17日(水) 2月24日(水)・3月2日(水) 3月9日(水) 時間 18時00分～19時30分	100名 (先着順)	大谷大学 真宗総合学術センター「響流館」 3階 メディアホール	6,500円 (税込)	1月15日(金)
女性と仏教Ⅱ	Dash Shobha Rani 大谷大学 准教授	11月7日(土)・11月21日(土) 12月5日(土) 時間 13時00分～14時30分	100名 (先着順)	大谷大学 真宗総合学術センター「響流館」 3階 メディアホール	4,000円 (税込)	10月15日(木)

※「女性と仏教Ⅱ」は2015年度前期の講座の続編ですが、今回からの受講も歓迎いたします。

### 紫明講座

講座名	講師	開講日・時間	定員	会場	受講料	申込締切
仏教の宇宙像と仏教天文学	岡田 正彦 天理大学 教授	11月19日(木)・11月26日(木) 12月3日(木) 時間 15時00分～16時30分	100名 (先着順)	大谷大学 真宗総合学術センター「響流館」 3階 メディアホール	4,000円 (税込)	10月28日(水)

#### 【パンフレット請求・申込方法】

\* 「生涯学習講座」案内パンフレットの送付を希望される場合は、①～④をご記入のうえ、下記の申込・お問い合わせ先へハガキ・FAX・E-mailのいずれかでご連絡願います。

①氏名・フリガナ ②郵便番号・ご住所 ③電話番号 ④「生涯学習講座」パンフレット送付希望

\* 受講ご希望の方は、(ア)～(ク)を明記のうえ、ハガキ・FAX・E-mailのいずれかでお申込ください。

(ア) 氏名・フリガナ (イ) 郵便番号・ご住所 (ウ) 電話番号 (エ) 「生涯学習講座」申込 (オ) 講座名 (カ) 年齢 (キ) 性別 (ク) 職業

\* ①～③ならびに(ア)～(ウ)の個人情報は、手続書類や今後の講座の案内送付のために使用いたします。また、(カ)～(ク)は、今後の講座企画の参考データとして利用いたしますので、差支えない範囲でご記入ください。

\* 申込が多数の場合、申込締切日以前であっても、受付を終了する場合があります。あらかじめご了承ください。

#### 【申込・お問い合わせ先】

大谷大学 教育研究支援課 MU係

〒603-8143 京都市北区小山上総町

電話 (075) 411-8161

FAX (075) 411-8162

E-mail o\_semi@sec.otani.ac.jp

## 《2015（平成27年度）開館情報》

●**秋季企画展** 大谷大学博物館の逸品  
 -重要文化財 宋拓「化度寺故僧豈禅師舍利塔銘」「信行禅師興教碑」-  
 ※実習生展併催

会 期 9月8日（火）～9月26日（土）  
 休 館 日 日曜日・月曜日  
 ※9月20日（日）は開館  
 開館時間 10：00～17：00（入館は16：30まで）

●**特別展** 生誕600年 蓮如

会 期 10月10日（土）～11月28日（土）  
 休 館 日 日曜日・月曜日  
 ※10月11日（日）、11月3日（火・祝）、22日（日）、23日（月・祝）は開館  
 開館時間 10：00～17：00（入館は16：30まで）

●**冬季企画展** 京都を学ぶ 住田智見（仮）

会 期 2016年1月6日（水）～2月13日（土）  
 休 館 日 日曜日・月曜日、2月11日（木・祝）  
 開館時間 10：00～17：00（入館は16：30まで）

大谷大学博物館 〒603-8143 京都市北区小山上総町 電話：075-411-8483  
[http://www.otani.ac.jp/kyo\\_kikan/museum/](http://www.otani.ac.jp/kyo_kikan/museum/)

## ミュージアムグッズ販売中

博物館が所蔵している貴重な資料をデザインしたグッズを販売しています。各種行事等にご利用ください。地方発送等も承ります（送料別）。

お問い合わせ・お申し込みは博物館（電話：075-411-8483）まで。



◆「マスキングテープ」  
 （中国古印をデザイン）  
 1個 250円  
 （4個お買い上げで、  
 1個プレゼント）



◆「ノート型付箋セット」  
 （表紙に「源氏物語屏風」  
 を使用。手帳などにはさ  
 めます）  
 1冊 500円



◆「トートバッグ」  
 40センチ×30センチ×8センチ  
 （中国古印をデザイン）  
 1個 1,500円



◆「ミニタオルハンカチ」  
 （打敷をデザインに使用）  
 1枚 400円  
 （2枚以上お買い上げで  
 2枚目から350円）  
 ◆「プレゼント用ケース」  
 1個 50円

# ゼミ・クラス等同期会 OB・OG会

恩師を  
囲んで



大谷大学33同期会 (2014.5.20 ~ 22)  
長岡で「親鸞となむの大地」展を見学し、上越と長野の聖跡を巡拝し、鶴の浜温泉と湯田中温泉で楽しく語り合い、旧交を温めました。



大谷大学 バスケットボール部 OB・OG会 (2014.7.5)  
7月5日(土)に第39回OB・OG会を開催いたしました。今年度も多くのOB・OGが参加し、大会・懇親会ともに大盛り上がりでした。懇親会では護山信磨会長の呼びかけで、「東日本大震災 大谷大学復興支援ボランティアバス」の活動支援金の募金を行い、OB・OG・現役から合計42,430円が寄せられました。



浄影会 (古田ゼミ同窓会) (2014.8.2)  
今年も先生を囲んで、にぎやかに同窓会を催すことができました。人数が少なかったのですが、来年は大勢集うことができればと思います。



大桑育先生の喜寿をお祝いする会 (2014.8.9)  
「歴史を学んでく今>に向き合う」と題する先生のご講演と先生を囲んでの懇親会を開催した。台風が接近する中、同窓生・研究者の方々約50名が参加し、「自分も加担者の一人であることの自覚を持たねばならない」という先生の熱いメッセージを聞き、昔のこと、今のこと、未来のことについて、夜を徹して語り合った。



昭和36 ~ 46年卒業 男声合唱団OB会 (2014.8.19)  
OUMC50年ぶりに会津に集い、久闊を叙した。西蓮寺で東日本大震災被災者および団物語者の追弔会を営む。東山温泉の向瀧に泊まる。



昭和46年入寮 育英学寮 同期会 (2014.8.21 ~ 22)  
10数年ぶりに、還暦を過ぎた同期生が横浜で再会です。青春時代の面影を懐かしみながら、暁の鐘が鳴るまで快飲しました。次回は3年後に北陸開催が予定されています。

ゼミ・クラス等同期会、OB・OG会開催一覧

開催日時	会 合 名	開催日時	会 合 名	開催日時	会 合 名
2014. 5.20(火) ～22(木)	大谷大学33同期会	2014. 9.27(土)	大谷大学 国文学会 懇親会	2015. 3. 7(土)	2007年入寮 自灯学寮 同期会
2014. 7. 5(土)	大谷大学 バスケットボール部 OB・OG会	2014. 9.28(日)	混声合唱団 OB・OG総会	2015. 3. 7(土)	2011～2014年卒業 谷真理ゼミ 同期会
2014. 8. 2(土)	浄影会(古田ゼミ同窓会)	2014. 9.28(日)	1975年卒業 漫画研究会OB・OG会 (卒業40thOB・OG会)	2015. 3.20(金)	2011年卒業 加来雄之ゼミ 同期会
2014. 8. 9(土)	大桑育先生の喜寿をお祝いする会	2014.10.11(土)	谷雪会(大谷大学スキー競技部OB・OG会)	2015. 3.30(月)	1974(昭和49年)入学 短期仏教科 同期会
2014. 8.19(火)	昭和36～46年卒業 男声合唱団OB会	2014.11.08(土)	東館紹見ゼミ 全年度 同期会	2015. 4. 3(金)	第4回 知真学寮一期生(1984年入 寮)同期会
2014. 8.21(木)	昭和46年入寮 育英学寮 同期会 ～22(金)	2014.11.08(土)	1987年卒業 国文科 D(沙加戸弘) クラス 同期会	2015. 5. 3(日)	1998年卒業 社会学科 野村哲也先 生米寿御祝いの会
2014. 8.23(土)	幼児教育保育科 第44期 同期会 (2011年卒業)	2014.11.15(土)	2004～2009年卒業 バレーボール 部 OB・OG会	2015. 5. 9(土)	2008～2009年卒業 東館紹見ゼミ 卒業生 同期会
2014. 8.23(土)	1982年入寮 自灯学寮 同窓会 ～24(日)	2014.11.15(土)	大谷大学史学科(昭和51年入学)フ ランス語I-Gクラス同窓会	2015. 5.15(金)	2007年卒業 宮崎健司ゼミ 15期生 同期会
2014. 8.24(日)	育英学寮 卒業30周年記念会	2014.11.15(土)	2001年卒業 藤島建樹ゼミ 同窓会	2015. 5.19(火)	大谷大学33同期会 ～21(木)
2014. 8.24(日)	十練会(1989年入寮 貫練学寮 同期 ～25(月)会)	2014.11.22(土)	小川一乗ゼミ 同窓会(全年度)	2015. 5.27(水)	1957年(昭和32年)入学 同期会 ～28(木)
2014. 8.26(火)	下鴨学寮43年入寮生の会 ～28(木)	2014.11.23(日)	河内昭圓先生頌寿記念会(河内ゼミ 同期会)	2015. 5.28(木)	1974年(昭和49年)入寮 洗心学寮 同期会
2014. 8.30(土)	昭和39年卒業 社会学教室 第13回 ～31(日) 同期会	2014.11.29(土)	笑いの学校 落語研究会 OB・OG懇親会	2015. 5.30(土)	1981年卒業 幼児教育科 14期生 同窓会
2014. 9. 3(水)	大谷大学短期大学部 1965年入学 ～4(木) 生 同窓会	2014.11.30(日)	バレーボール部OB・OG会	2015. 5.30(土)	第39回 浄眼洞(山田亮賢先生門下 生の会)
2014. 9. 6(土)	2013年卒業 東館ゼミ 同期会 ～7(日)	2014.12. 5(金)	1964年(昭和39年)入寮 下鴨学寮 ～6(土) 同期会	2015. 6.11(木)	1968年・1969年入寮 育英学寮 同期会
2014. 9. 7(日)	道交会(柔道部OB・OG会) 総会・法 要(師範1周忌)	2014.12. 6(土)	直心行射会 OB・OG総会・懇親会	2015. 6.18(木)	1967年(昭和42年)入寮 洗心学寮 同期会
2014. 9.14(日)	1994年入寮 自灯学寮 同期会	2014.12. 9(火)	1968年入寮 育英学寮 同期会	2015. 7. 4(土)	大谷大学バスケットボール部OB・ OG会 第40回記念大会
2014. 9.17(水)	2006年卒業 一楽真ゼミ 同期会(4 ～18(木) 期生)	2014.12.18(木)	1959年(昭和34年)入学 フランス 語クラス会(岩見至教授)	2015. 7. 4(土)	1991年入学 1-L(ドイツ語クラ ス)同期会
2014. 9.20(土)	2005年入寮 自灯学寮 同期会 ～21(日)	2014.12.20(土)	雲の糸(1968年入学 雲井昭善クラス)	2015. 7. 9(木)	昭和47年～50年入寮 下鴨学寮 還 暦祝(同期会)
2014. 9.27(土)	大谷大学卓球部後援会卓球大会、 総会・懇親会	2015. 2.11(水)	第1回人文情報学科サロン(同窓会)	2015. 10(金)	
		2015. 2.13(金)	男声合唱団OB会(コールリンデン クラブ)総会・懇親会		
		2015. 2.14(土)	1979年入寮 自灯学寮 同期会		
		2015. 2.28(土)	安井喜行教授 最終講義 懇親会		
		2015. 2.28(土)	2014年卒業 平野寿則ゼミ 同期会		
		2015. 3. 7(土)	1974年入寮 育英学寮 同期会		

## 開催をお世話いただく幹事さんへ

◆「ゼミ・クラス等同期会」「OB・OG会」等を開催されるときは、事前にご連絡ください！

事務局は、大谷大学「尋源館」2階にあります

大谷大学同窓会本部事務局 (大谷大学総務部「校友センター」内)

<連絡先>TEL:075-4111-8124 (直通)

FAX:075-4111-8157 (直通)

E-mail:kouyu@sec.otani.ac.jp

※電話・FAX・メール等、ご都合の良い手段でご連絡ください。

◆まずは、開催1か月前までに「同期会届」「OB・OG会届」をご提出ください。

◇「同期会」としてお届けいただくためには、その団体の全対象者にご案内をされていることが前提となります。

◇クラブの「OB・OG会」は、すべての年度の卒業生を対象としてご案内ください。

◇「開催届」の提出と上記の内容を満たしている団体には、通信費の一部として「開催助成費」を補助しています。

◆同窓会本部事務局では、こんなお手伝いができます。

1. 申請により、連絡用名簿・宛名ラベルを提供することができます。

◇「同窓会本部への申請書 提出」より「名簿・宛名ラベルのお届け」までは、1週間～10日程度かかります。  
(事務の都合上、それ以上かかる場合もございます。)

2. 大学の施設を、同期会の会場として利用できます。

◇授業・大学行事等の関係上、利用できない場合があります。

利用を希望される場合は、日程等を決定する前に、同窓会本部事務局へご相談ください。

3. ホームページ「無盡燈」に開催予定・報告を掲載します。

同窓会報『無盡燈』には、写真とともに開催結果を掲載します。

「ゼミ・クラス等同期会」「OB・OG会」についての詳細は、  
同窓会本部事務局までお気軽にお問合せください。



幼児教育保育科 第44期同期会 (2011年卒業) (2014.8.23)  
卒業4年を記念して同窓会を開催しました。参加人数は44人と多くの方に参加していただきました。久々に会った旧友と話が尽きませんでした。



1982年入寮 自灯学寮 同窓会 (2014.8.23 ~ 24)  
2年ぶりの再会。それぞれの人生を力強く歩んでいる仲間との絆を、再確認できた1泊2日でした。次回は3年後に計画しています。



育英学寮 卒寮30周年記念会 (2014.8.24)  
育英最後の寮監・寮生が卒寮30年の節目に再会し、一人ひとりが今を語り昔を尋ね、これからの一歩を確かめ合いました。



十練会 (1989年入寮 貫練学寮 同期会) (2014.8.24 ~ 25)  
貫練学寮10期生の「十練会」は、石川、宮城と4年おきに行い、今回は8月24日、福岡市で開催。次回は2年後、関西でやります！



下鴨学寮43年入寮生の会 (2014.8.26 ~ 28)  
1年の老いを感じつつも元気で再会できたことを喜びました。来年は第5回目、京都、滋賀(長浜)で開催します。



昭和39年卒業 社会学教室 第13回同期会 (2014.8.30 ~ 31)  
卒業50年の節目に当り、富山の宇奈月温泉にて一夜語り明し、翌日はトロッコ電車で黒部峡谷の自然を満喫しました。



大谷大学短期大学部 1965年入学生 同窓会 (2014.9.3 ~ 4)  
今回の同窓会は、琵琶湖の畔り、長浜で開催しました。五村別院での物故者追悼会の後、懇親会は楽しい時間を過ごしました。



2013年卒業 東館ゼミ 同期会 (2014.9.6 ~ 7)  
東館ゼミ8期生は初めての同期会でした。卒業以来の歴史踏査は滋賀県湖北。素敵な時間を過ごしました。



道交会（柔道部OB・OG会）総会・法要（師範1周忌）（2014.9.7）  
廣川彰恩師範の一周忌をあわせて行いました。河内先生より師範の  
武勇伝を聞き、柔道史に残る偉大な谷大OBであったと実感しました。



1994年入寮 自灯学寮 同期会（2014.9.14）  
入寮20年の節目に同期会を開催しました。当日は大学や旧自灯学寮の周辺も散策し、  
懐かしい思い出話に花を咲かせました。



2006年卒業 一楽真ゼミ 同期会（4期生）（2014.9.17～18）  
10年ぶりに、先生を囲み、ゼミの皆さまと再会し、学生時代のように楽  
しいひと時を過ごしました。



2005年入寮 自灯学寮 同期会（2014.9.20～21）  
思い出深い湖西キャンパスに集まりました。年に一度、皆の元気な笑顔に出  
会えてとても嬉しかったです。



大谷大学卓球部後援会卓球大会、総会・懇親会（2014.9.27）  
名誉顧問の片野先生、顧問の三木彰円先生ご臨席のもと、現役、OB・OGが世代をこ  
えて語りあい、楽しい懇親会となりました。



大谷大学 国文学会 懇親会（2014.9.27）  
大谷大学尋源講堂において大谷大学国文学会が開催され、本学の中川眞  
二准教授による講演がありました。講演会の後に開かれた懇親会には10  
名を超える参加者があり、互いの近況や思い出話に花が咲き、本学教員  
も交えて盛り上がりました。

**文栄堂**  
 〒604-8691 京都市中京区寺町通三乗上る  
 TEL 075-223-5448  
 FAX 075-223-5448  
 Email bunrei@opt7.so-net.ne.jp

**帰命の生活**  
 水島見一 著 定価 一、四〇〇円十税

**苦勞はいいもんや**  
 水島見一 著 定価 一、八〇〇円十税

**『浄土論註』の思想究明**  
 延塚知道 著 定価 三、八一〇円十税

**講讃 浄土論註 第一巻**  
 延塚知道 著 定価 二、八〇〇円十税

**講讃 浄土論註 第二巻**  
 延塚知道 著 定価 二、八〇〇円十税

**講讃 浄土論註 第三巻**  
 延塚知道 著 定価 二、八〇〇円十税

いのち みなもと  
「生命の玄」

食事を大切にする。  
 食事を大切に考えて作る。  
 食事する人を大切に思っで作る。  
 それが典座の精神、私たちの仕事です。

〒612-8429 京都市伏見区竹田西段川原町89  
 TEL 075-643-5700 FAX 075-643-5698  
 URL : <http://www.tenzo.co.jp>

※いつもご利用賜りまして誠にありがとうございます。平成7年より  
 大谷大学学生食堂とBig Valley Cafeを運営させて頂いております。

株式会社 典座 Tenzo  
 HAPPY COOK



混声合唱団 OB・OG総会 (2014.9.28)  
来るべき4年後の創団50周年記念演奏会を  
目指し、準備委員会を立ち上げました。



1975年卒業 漫画研究会OB・OG会 (卒業40thOB・OG会) (2014.9.28 ~ 29)  
昨年9月、40年ぶりに創設時のメンバー11名が集まりました。当日は20年後の  
後輩も駆けつけて部室で現役部員と交流を深めました。



谷雪会 (大谷大学スキー競技部OB・OG会) (2014.10.11)  
2015年度谷雪会は40周年を迎えます。京都にて10/17-18の1泊2日で行  
いますので是非ご参加ください。



東館紹見ゼミ 全年度 同期会 (2014.11.8)  
大谷大学および大谷大学短期大学部東館ゼミの同窓生を対象とした会を開催しました。  
先輩や後輩と出会う機会となり、世代を超えた交流が生まれました。



1987年卒業 国文科 D (沙加戸弘) クラス 同期会  
(2014.11.8)  
クラス会のはずが…いつの間にか講義の時間に早変わり。  
私達熟女パワーに負けず、懐かしい沙加戸先生の毒舌？  
は今も健在でした！



2004 ~ 2009年卒業 バレーボール部 OB・OG会 (2014.11.15)  
今回が2回目の開催となりましたが、怪我もなくとても良いOB・OG会となりま  
した。是非来年も開催したいです。



大谷大学史学科 (昭和51年入学) フランス語 I -Gクラス同窓会 (2014.11.15)  
2年振りの同窓会は南禅寺の菊水で。お庭を見ながらの楽しい一時。  
その後南禅寺を散策、三門からは紅葉と京都の町を一望。快晴。



2001年卒業 藤島建樹ゼミ 同窓会 (2014.11.15)  
今回は藤島先生が出席できず、とても残念でした。また、2年以内に開催したいと思います。



小川一乗ゼミ 同窓会 (全年度) (2014.11.22)  
大学報恩講では、小川先生の記念講演をお聞きし、夕刻からは場所を移して懇親会を開催しました。



河内昭圓先生頌寿記念会 (河内ゼミ同期会) (2014.11.23)  
河内昭圓先生の喜寿のお祝いに、多くのゼミ生が集まりました。響き渡る「河内節」とともに良き時代の思い出がよみがえりました。

笑いの学校 落語研究会 OB・OG懇親会 (2014.11.29)  
来年の創部45周年を前に懇親会を開催。案内状の印刷ミス等トラブル多発でしたが、多くの方にご参加いただきました。



バレーボール部OB・OG会 (2014.11.30)  
第38期OB・OG会を開催致しました。現役達との交流戦、親睦会と楽しいひと時を過ごす事が出来ました。来期も1人でも多くの参加を楽しみにしております。



1964年(昭和39年)入寮 下鴨学寮 同期会 (2014.12.5~6)  
昨年の新潟での開催に続いて、今回は京都で開き、それぞれ古稀を祝いました。翌日、宗祖親鸞聖人のご旧跡を訪ね、古へに想いを馳せました。



直心行射会 OB・OG総会・懇親会 (2014.12.6)

現道場での直心行射会が最後となりました。来年は、新道場での開催となりますので、心あらたに準備を進めていきます。



1968年入寮 育英学寮 同期会 (2014.12.9)

追申法要(導師：片野元寮監)を大学で勤め、その後は育英寮を訪ね、近隣の方々とは旧交をかわし、懇親会は片野先生の喜寿祝いの席となりました。



1959年(昭和34年)入学 フランス語クラス会(岩見至教授) (2014.12.18)

師走におけるクラス会で少数の出席でしたが、岩見先生も出席して頂き、再会を共によろこびました。毎年クラス会を開合します。



雲の糸 (1968年入学 雲井昭善クラス) (2014.12.20)

12月20日、琵琶湖ホテルに雲の糸会員20名が雲井先生の百寿を祝って集まり、先生の更なる長寿を祈念して歓談に時を過しました。



第1回人文情報学科サロン(同窓会) (2015.2.11)

2月11日、人文情報学科開設15周年を祝い、記念講演、学科在学生と卒業生との大懇親会を行いました。



男声合唱団OB会(コールリンドンクラブ) 総会・懇親会 (2015.02.13)

今年も現役の定期演奏会(第81回)を期に多くの朋友が集いました。これからも世代を超えて共に歌い合う喜びを、味わい伝え続けていきたいです。



1979年入寮 自灯学寮 同期会 (2015.2.14)  
初めての同期会。寮監先生とお嬢様にご臨席いただきました。おいしいお料理とお喋りと変わらぬ笑顔。次回は還暦の年です。



安井善行教授 最終講義 懇親会 (2015.2.28)  
2015年1月22日に「社会福祉・社会保障の社会科学」と題し、長年本学で教鞭を振られてきた安井善行先生の最終講義を行いました。また、同年2月28日には約50名の参加による卒業生および最後のゼミ生との送別会も開催しました。



2014年卒業 平野寿則ゼミ 同期会 (2015.2.28)  
2月28日、初めての同期会でした。平野先生を囲みながら、楽しい時間を過ごすことができました。



1974年入寮 育英学寮 同期会 (2015.3.7)  
還暦を迎える年齢となり初めての同窓会でした。庭田出君の追弔会の後、41年ぶりの再会に、会話が弾んだ京都の夜を過ごしました。



2007年入寮 自灯学寮 同期会 (2015.3.7)  
10人にも満たない同期会となりましたが、とてもにぎやかで楽しい時間を過ごせました。また近いうちに、企画したいと思います。



2011～2014年卒業 谷眞理ゼミ 同期会 (2015.3.7)  
谷ゼミであった方々がたくさん集まっていただきました。このご縁をさらに深めていけたら幸いです。



2011年卒業 加来雄之ゼミ 同期会 (2015.3.20)  
共に加来先生に学んだ友と再会でき、大変嬉しく思います。これからも、定期的開催にたく思っております。



1974年(昭和49年)入学 短期仏教科 同期会 (2015.3.30)  
桜の花が咲き、級友の追弔法要に引き続き、会場を移し、古田先生の傘寿の御祝い、及び級友の還暦の祝いと楽しい一時を過ごしました。



第4回 知真学寮一期生（1984年入寮）同期会（2015.4.3）  
毎年一回の同期会。今年は鹿児島で開催しました。来年は、みんな50代になります。京都でお会いしましょう！



1998年卒業 社会学科 野村哲也先生米寿御祝いの会（2015.5.3）  
野村哲也先生の米寿御祝いの祝宴にゼミ同窓生6名が参集。「またみんな集まれー！」「次は卒寿の御祝いですね、野村先生！」



2008～2009年卒業 東館紹見ゼミ卒業生 同期会（2015.5.9）  
先日はご多忙中、同窓会へ参加して頂き、ありがとうございました！ 変わらず元気な姿を見られて、とても嬉しかったです。今度は全員で集まりましょう！



2007年卒業 宮崎健司ゼミ 15期生 同期会（2015.5.15）  
久しぶりに先生や同窓生に会えて楽しかったです。



大谷大学33同期会（2015.5.19～21）  
年一回の集まりですが北海道や九州を含め、ほぼ全国をまわり、来春は再度九州を訪ねます。

飯田剛史先生 定年退職謝恩会（2015.5.23）



1957年（昭和32年）入学 同期会（2015.5.27～28）  
同窓会第1回京都（平成7年：57歳）出席45/76。第8回播州赤穂（平成27年：喜寿）20/76。20年で還浄者13名。姫路城で惜別。再見。写真は華嶽寺にて。



1974年（昭和49年）入寮 洗心学寮 同期会（2015.5.28）  
久しぶりの大谷大学での学内見学、新しい学舎が多く当時の学舎は少しになり、これから先も発展していく事であろうと思いました。



1981年卒業 幼児教育科 14期生 同窓会 (2015.5.30)  
日下部先生、山本(旧姓:杉原)先生もお越し下さり、思い出、近況話に互いに元気もらい、楽しい一時をすごしました。



第39回 浄眼洞 (山田亮賢先生門下生の会) (2015.5.30 ~ 31)  
今年は北陸の温泉に集まりました。テーマは佐々木月樵・西田幾多郎→木村素衛(もともり)→山田亮賢先生の愛と情熱の教育論。わたしたちは真に大きなものをいただきました。



1968年・1969年入寮 育英学寮 同期会 (2015.6.11)  
新築の『しんらん交流館』で追弔法要を勤め、祇園での宴は各地の銘産を交換し、二次会は懐かしい曲を皆で歌い次の再会を約束しました。



1967年(昭和42年)入寮 洗心学寮 同期会 (2015.6.18 ~ 19)  
昨年の登別に続き、三回目の今年は石川の小松市で、小川先生はじめ14名の参加で楽しく開催されました。来年は又京都での予定です



大谷大学バスケットボール部OB・OG会  
第40回記念大会 (2015.7.4)  
7月4日に第40回となるOB・OG会を開催しました。今年は40回の記念大会として、懇親会に名誉顧問の訓覇先生にもお越しいただきました。現役含め70人が集まり、会話に花が咲く盛大で楽しい会となりました。



1991年入学 1-L(ドイツ語クラス)同期会 (2015.7.4)  
思い出の地、京都に13名が集まりました。昔話から近況報告まで、話も弾み、笑顔いっぱいの楽しいひとときでした。定期的に開催する予定ですので、今回、参加できなかった方もぜひ、次回にご参加を!



昭和47年~50年入寮 下鴨学寮 還暦祝(同期会) (2015.7.9 ~ 10)  
7月9日、大阪にてご逝去された寮のOB・ご縁の方々にたいして弔意を表し、乾杯。10日、難波別院・小川一乗先生、暁天講座「成仏と浄土」を聴聞。観劇「太平洋食堂」。

# 本部報告

## 2015年度 同窓会総会開催【報告】

2015年5月8日（金）午後1時30分より、博綜館第1会議室において、本年度の同窓会総会が開催されました。

議長には夕張支部長の月輪淳裕氏が選出され、各議案について活発な審議をいただき、それぞれ承認を得ました。

### 1. 2014年度「事業報告」および「収支決算報告」（下記「収支決算書」参照）

2014年度  
大谷大学同窓会本部収支決算書

【収入の部】		(単位 円)
科 目	決算額	
1. 前年度繰越金	12,252,434	
2. 会 費	26,658,000	
会費(1)	1,308,000	
会費(2)	25,350,000	
3. 入 会 金	4,225,000	
4. 寄 付 金	1,014,000	
5. 雑 収 入	638,555	
合 計	44,787,989	

【支出の部】

【支出の部】		(単位 円)
科 目	決算額	
1. 事 業 費	12,154,731	
本部事業費	3,884,585	
支部事業助成費	3,837,700	
同期会・OB会等開催助成費	510,000	
学生会助成費	500,000	
新入会員歓迎費	3,422,446	
2. 刊 行 費	3,611,603	
無盡燈刊行費	2,638,483	
印刷製本費	973,120	
3. 事 務 費	3,307,654	
本部事務局費	2,575	
活動費	420,000	
通信費	2,885,079	
4. 旅 費	6,833,187	
5. 会 議 費	1,339,621	
6. 委 託 費	1,732,279	
7. 雑 費	210,468	
8. 同窓会基金への繰入支出	1,191,225	
9. 同窓会活性化準備金	15,660	
10. 予 備 費	0	
合 計	30,396,428	

### 2. 同窓会基金の一部取り崩しについて

事務局より、同窓会収入の大部分を占める新入会員の入会金・終身会費の入金が、例年11月であり、4月から11月までの運用資金が前年度繰越金では足りないため、現況として同窓会基金を一時借用し、運用しているとの報告がなされました。この事案を解消するために2015年度に同窓会基金の一部取り崩しを行い、運用資金に充てたいとの提案がなされました。

### 3. 同窓会運用資金の創設について

「同窓会基金の一部取り崩しについて」の審議を踏まえ、事務局より、2015年度予算に「同窓会運用資金繰入支出」を創設し、同窓会基金から1900万円、前年度繰越

金から600万円を繰入支出したい旨の説明がなされました。

### 4. 2015年度「事業計画」および「収支予算(案)」（下記「収支予算書」参照）

### 5. 役員の変更について

以下について事務局より提案・報告がなされ、任期満了に伴う全ての役員の変更について、ご審議いただきました。

・副会長 北原了義氏・常務理事 稲垣俊一氏・理事 石川正生氏・監事 朽木明暁氏より、辞意の願い出がありました。

・改選については、「再任は妨げない」ことになっているため、辞意表明をされている方以外は、再任をご依頼したいと提案し、辞意のお申し出のあった副会長1名と理事2名・監事1名については、新しい理事・監事をお願いしたい旨の提案がなされました。

役員の変更については、下記のとおり決定いたしました。役員任期は、会則第13条により2年間となります。

#### 記

会 長	藤島 建樹
副 会 長	等岳 兼昭
副 会 長	吉田 法純
理 事 長	織田 顕祐
常務理事	北畠 顕信
常務理事	柴田 達也
常務理事	武井 弥弘
理 事	井上 恵二
理 事	大音 祖瑛
理 事	奥村 豊
理 事	加藤 隆昭
理 事	沙加戸 明

2015年度  
大谷大学同窓会本部収支予算書

【収入の部】		(単位 円)
科 目	予算額	
1. 前年度繰越金	14,391,561	
2. 会 費	23,940,000	
会費(1)	1,140,000	
会費(2)	22,800,000	
3. 入 会 金	3,800,000	
4. 寄 付 金	900,000	
5. 同窓会基金取崩収入	19,000,000	
6. 雑 収 入	278,439	
合 計	62,310,000	

【支出の部】

【支出の部】		(単位 円)
科 目	予算額	
1. 事 業 費	13,540,000	
本部事業費	4,290,000	
支部事業助成費	4,350,000	
同期会・OB会等開催助成費	700,000	
学生会助成費	500,000	
新入会員歓迎費	3,700,000	
2. 刊 行 費	4,001,000	
無盡燈刊行費	2,900,000	
印刷製本費	1,101,000	
3. 事 務 費	3,964,000	
本部事務局費	40,000	
活動費	444,000	
通信費	3,480,000	
4. 旅 費	9,110,000	
5. 会 議 費	1,780,000	
6. 委 託 費	2,050,000	
7. 雑 費	590,000	
8. 同窓会基金繰入支出	150,000	
9. 同窓会活性化準備金	1,500,000	
10. 同窓会運用資金繰入支出	25,000,000	
11. 予 備 費	625,000	
合 計	62,310,000	

理事	菅原 信顕
理事	竹園 関
理事	原 直樹
理事	藤原 憲
監事	長谷岡英信
監事	藤坂 初裕
顧問	草野 顕之
常務理事	水島 見一
常務理事	寺西 龍水
常務理事	木越 康
常務理事	采翠 晃
常務理事	山田 恵文
常務理事	山崎 学
理事	一楽 真
理事	宮崎 健司

なお、総会後に総務部事務部長の交代がありました。そのため、6月1日より山崎学常務理事に代わり、古角智子総務部事務部長が常務理事に就任いたしました。

また、6月29日付で真宗大谷派教育部長の交代があり、武井弥弘常務理事に代って、橘秀憲教育部長が常務理事に就任いたしました。

## 6. 今後の同窓会活動体制について

以下について織田顕祐理事長より提案・報告がなされ、今後の同窓会活動体制について、ご審議いただきました。

- ・2014年度の同窓会活動企画推進委員会第1部会・第2部会の活動について報告され、2014年度に仏教公開セミナーを開催した支部の中から湖東支部長の伊藤正善氏より、開催状況について報告がなされました。
- ・2014年度に「大谷大学同窓会

将来構想委員会準備会」を計6回開催し、同窓会の将来の方向性について議論を進めてきたことの報告がなされました。当初は2015年度から「将来構想委員会」を立ち上げる予定でしたが、理事会において2015年度は準備会として継続して検討を進めることが決定されたことも報告されました。

- ・同窓会活動企画推進委員会第1部会・第2部会は2014年度末をもって発展解消し、同委員会が担当してきたホームカミングデー、NPO法人尋源舎の運営などは、実施のための委員会を改めて組織し、実施したい旨の報告がなされました。

## 7. 大谷大学複数学部化改編について

草野顕之学長より趣旨説明の後、木越康教育・学生支援担当副学長より、複数学部化改編の検討状況について説明がなされました。

## 8. 大谷大学キャンパス総合整備・新教室棟建築にかかる募金への協力について

以下について、ご審議いただきました。

- ・草野顕之学長より、新教室棟建築にかかる募金への協力依頼の後、寺西龍水学監・事務局局長より大谷大学キャンパス総合整備・新教室棟建築資金募金趣意書によって、同窓会における募金目標額を2億円に設定した根拠等の説明がなされました。

- ・今回の新教室棟建築にかかる募金については、同窓会員に対して一口10,000円を5口以上お願いしたいが、10,000円以下であってもありがたく受け入れたいとの説明がなされました。

## 9. その他

- ・特になし。



同窓会総会(博綜館第1会議室)

## 「第19回 ホームカミングデー」開催(報告)

学園祭(紫明祭)期間中の11月8日(土)、同窓会が主催する「第19回ホームカミングデー」が開催されました。ホームカミングデーは、例年学園祭期間中の土曜日、「同窓生の母校への里帰りの1日」として企画しているものです。

退職された先生や専任教職員、同窓会役員や多くの同窓生の方々にご出席いただきました。当日の参加者は、前年度の赤レンガ100周年記念「第18回ホームカミング



ペーパークラフト「尋源館」を作ろうコーナー

デー」より60名ほど少ない約230名でありました。



恩師・旧友との懇談



恩師・旧友との懇談

ご出席いただきました方々には、クイズイベント「変わりゆく学舎」に参加していただき、1号館・至誠館・尋源館にまつわるクイズに解答していただきました。



恩師・旧友との懇談



学内散策

閉会式では、クイズの参加者に「同窓会役員」「同窓会支部（全国に80ある地域支部）」ならびに支部

長」よりご提供いただいた「銘菓」「銘酒」「農作物」などの特産品が贈られました。この特産品は、ホームカミングデーの盛会と同窓会の活性化を願い、ご提供いただいたものです。ホームカミングデー当日までに会場に並べきれないほどのお品が届き、会場にて参加者にご披露いたしました。



同窓会役員・支部より提供された特産品



同窓会役員・支部より提供された特産品

11月14日（土）に開催されます「第20回ホームカミングデー」へも、同窓生の皆様のご参加を、心よりお待ちしております。



景品交換



景品交換

## 2014年度 卒業・修了ならびに同窓会新入会員 歓迎祝賀会を開催



織田同窓会理事長  
祝賀会趣旨説明

3月18日（水）に2014年度「卒業証書ならびに学位記授与式」が挙行され、式典終了後の16時30分よりグランドプリンスホテル京都において、「大谷大学卒業・修了ならびに同窓会新入会員歓迎祝賀会」が開催されました。

この祝賀会は、卒業・修了をお祝いする「祝賀の会」であると同時に、「大谷大学同窓会」へのご入会を歓迎する「歓迎会」としての意味を込めて、「大谷大学」と「大谷大学同窓会」が共催する祝宴です。



卒業・修了生代表  
和田さん 乾杯発声

草野顕之学長、藤島建樹同窓会長の祝辞の後、卒業・修了生を代表して文学部教育・心理学科の和田麻友香さんが挨拶と乾杯の発声を行い祝宴が始まりました。その後、今年度の学生支援表彰「菩提樹賞」の表彰が行われました。ま

た、アトラクションでは短期大学部幼児教育保育科卒業生全員による合唱と、教職員・卒業生有志による寮歌を披露していただき、祝賀会は大変盛りあがりを見せました。



教職員・卒業生有志による寮歌合唱

学生生活も最後となるこの日、一時を惜しむかのように和やかな雰囲気の中、恩師そして友だちとの語らいが続けられていました。



歓談の様子

## 2014年度 同窓会学生支援表彰「菩提樹賞」の表彰式を行う

3月18日（水）に開催されました「大谷大学卒業・修了ならびに同窓会新入会員歓迎祝賀会」において、同窓会学生支援表彰「菩提樹賞」の表彰が行われました。



藤島同窓会長より表彰

この「菩提樹賞」は、同窓会が学術・文化・スポーツ・ボランティア活動などの分野で、顕著な成績や多大な成果を収め、大谷大学の発展に貢献した学生または課外活動団体を表彰し、学生生活の充実に資することを願って贈るものです。

今回は、スポーツ分野で文学部社会学科ご卒業の那谷翼さんが表彰され、その他分野では文学部仏教学科ご卒業の山本翔さんが表彰されました。また、文化分野では大谷大学新聞社が表彰されました。



受賞者(左より)那谷さん、山本さん、新聞社の方々

表彰の後、那谷翼さん、山本翔さんと、大谷大学新聞社代表の具志堅倫護さんにスピーチしていただきました。

今後、那谷翼さん、山本翔さんと、大谷大学新聞社が一層活躍されることを期待しています。

## 2015年度「大谷大学・同窓会全国縦断 夏季八十講」ならびに「支部総会」の開催について

今年度も7月から9月にかけて、「大谷大学・同窓会 全国縦断 夏季八十講」ならびに「支部総会」を全国73支部68会場で開催いたしました。

夏季八十講は、全国に80支部ある同窓会支部と大谷大学とが協働して講演会を開催するもので、同窓生・在学生はもとより広く一般

市民にも公開され、地域社会の文化興隆に大きな役割を果しています。

特に、「神奈川支部」「四国支部」「三条支部」の3支部では、今年度、同窓会が設立母体となるNPO法人「尋源舎」（右下参照）との共催で、「仏教公開セミナー」として広く市民に開かれて実施されました。



神奈川支部



四国支部

## 支部長・事務局交代等のご紹介 ありがとうございました よろしくおねがいたします

- 〈茨城支部長〉 河和田 唯 彰  
(前支部長 田村晃洋)
- 〈湖東支部長〉 伊 藤 正 善  
(前支部長 深尾浄信)
- 〈能登支部長〉 奥 村 文 秀  
(前支部長 故篠岡誓弘)
- 〈尾張学友会支部事務局〉  
加 藤 烈  
(前事務局 市野智行)

新たに発足した支部事務局

- 〈静岡県支部事務局〉 曾 我 一 洋
- 〈十勝支部事務局〉 齊 藤 悟
- 〈播磨支部事務局〉 泉 宣 昭

## 同窓会費の納入のお願い

本学同窓会は、同窓の皆さまと母校との連繫を図ることを目的に、同窓会総会等の諸会議の開催、支部総会・夏季八十講への補助、ホームカミングデーの開催、新入会員歓迎祝賀会の開催、会報誌『無盡燈』の発行・送付、ゼミ・クラスの同期会及びクラブのOB・OG会への補助等の事業を展開しています。

このような事業の財政基盤は、同窓の皆さまから納入していただく同窓会費（終身会費と年会

費）と寄付金によって賄っています。

現在同窓会員は約37,000名ですが、そのうち約2/3が終身会員（1992年3月以降の卒業・修了の方は、入会時に終身会費を納入していただいております）、約1/3が通常会員（1991年9月以前の卒業・修了生で終身会員以外の方）となっています。

同窓会活動は、側面から大学を支えて、母校の更なる発展に寄与するために、ますますの活

性が強く求められています。このためにも、同窓会活動へどうか温かいご理解とご支援を賜わり、年会費または終身会費、寄付金の納入にご協力いただきますようお願い申し上げます。

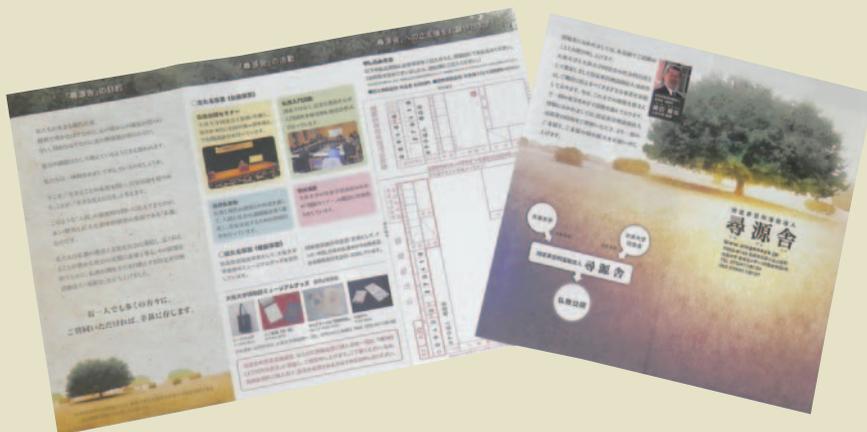
いずれの場合も、同封の払込取扱票（郵便局扱）をご利用いただきますと手数料は不要です。

なお、通常会員から終身会員への変更も可能です。詳しくは、同窓会本部（075-411-8124）までお問い合わせください。

## NPO法人「じんげんしゃ尋源舎」について

NPO法人「じんげんしゃ尋源舎」は、同窓会が設立母体となって、2006年12月に設立した、仏教の公開を目的とした特定非営利活動法人です。尋源舎は、皆さまからの賛助金（一口3,000円）で活動を行っています。

お問い合わせは、大谷大学同窓会本部（TEL：075-411-8124）まで。



## 同窓通信

### 「学生時代を振り返って」

藤本 青一

(1974年文学部史学科 卒業)

1974（昭和49年）3月、日本仏教史（名畑ゼミ）を卒業させていただき、同年5月、財団法人美術院国宝修理所に入所いたしました。美術院は国宝や重要文化財をはじめとする彫刻（仏像・神像・肖像・面等）を中心に文化財修理を行っております。入学以前より、美術院入所を目標としていましたので、3・4回生は美術院に入所がかなうよう、その方面の勉強を中心に学生生活を送っていました。大学が休みに入ると半分はアルバイトをして、その稼いだお金で、仏像を見てまわる旅をしていました。仏像オタクのはしりであったと思います。そのため、大した卒論も残せず、何とか卒業させていただいた次第です。

美術院は岡倉天心先生が創設者で、その著である「茶の本」の原文が2回生英語の講義にテキストとして用いられました。英語嫌いの私が恥ずかしながら、まじめに英語に取り組んだ初めてのことでした。1・2回生は茶道部に所属しておりました。「茶の本」に出会ったことや茶道に接したことが、今日の文化財に携わる者として、美意識や感性の形成に大きな影響を与えてくれました。

在学中は学生運動が盛んな時期でありましたが、名畑ゼミは少数のゼミでしたので、時には教室ではなく、先生の研究室で行われることもあったと記憶しております。講読で使われた日本書紀・続日本紀・高僧伝・令義解などのプリントを今日も大切に保管しております。文化財修理に際して、対象となる仏像や人物（肖像彫刻）の登場する歴史書や寺の縁起・資財帳・物語など、原典に当たるよう努めております。

学生時代を思い返しますと、大谷大学に身を置き、学べる環境にありながら仏典やサンスクリット・古文書など、積極的に学ばなかった悔いが残っております。現役の皆さんには、環境を十分に生かし、有意義な学生生活を送っていただきたいと思っております。

(公益財団法人 美術院 国宝修理所 所長  
東京芸術大学 大学院 非常勤講師)



### 現役教員からのお便り ▶▶▶

#### 師友の有難さ

大谷大学教授（歴史学）東館 紹見

勤務先であると同時に母校でもある大谷大学は、私にとって、いつもつい甘えて寄りかかってしまいたくなる存在でもあり、またその反面、そうした甘えや寄りかかりを決して許さず、厳しく対して下さる存在でもあります。大谷大学に対する私の思いは、入学以来、常にこの二つの間を行き来し続けています。

入学して早や33年が経ち、同期生のご子息たちが在学されることも多くなりました。キャンパス内の様子も雰囲気もずいぶん変わったように思いますが、それでも変わらないものが流れ続けていることを確かに感じます。

日々、ついつい教えていただいたこと、学んだことを、如何に伝えるか、ということにばかり汲々としてしまっている自分に気づきます。しかし本

当は、一緒に学ぶ人々と共に、自分は何を教えていただいたのか、何を学んだのかを、丁寧に確かめ続けていくしかないのですね。授業をしても、文献を読んでも、手ほどきをして下さった先生、大切なことを身をもって教えて下さった先生、そしてともに学んだ友のことを思うと、不思議に心が落ち着きます。

私のゼミでは、春と秋に行う史蹟踏査と懇親会を、同窓生の方々と出会う場ともしています。どうぞご参加下さり、現役諸君を、そして私を励まして下さいね。





## ご結婚おめでとうございます

幸せなご家庭を築かれることを念じ申し上げます。

( )内は最終卒業・修了年(敬称略) ※同窓会本部 7月31日現在 掌握分  
結婚式日順

※大谷大学尋源講堂で仏前結婚式をお受けています。  
お問い合わせは、総務課(電話:075-411-8163)まで。



- |                 |               |                 |               |
|-----------------|---------------|-----------------|---------------|
| 加賀山純一 (2010修) ♥ | 大家理恵子 (2008文) | 得田 英伺 ♥         | 磯部加奈子 (2008文) |
| 竹内 廣 (2013修) ♥  | 八木 弘子 (2013短) | 坂根 康裕 ♥         | 福村 千代 (2004文) |
| 永井 道央 (2011修) ♥ | 奥居 未来 (2007文) | 金石 智祥 (2013修) ♥ | 小川 香織         |
| 荒田 幹康 ♥         | 中村 香月 (2010文) | 増井 大輔 ♥         | 山田まりえ (会友)    |
| 小林 浩之 ♥         | 福吉 朋恵 (会友)    | 小西 修司 ♥         | 野邑 理香 (会友)    |
| 秦 信明 (2004文) ♥  | 佐用 知子 (2006短) |                 |               |

## 敬 弔

ご生前のご功勞を偲び、謹んで哀悼の意を表します。

( )内は最終卒業・修了年(敬称略) 年月日はご逝去された日付

※同窓会本部 7月31日現在 掌握分  
ご逝去された日付・五十音順

- |                            |                             |                            |
|----------------------------|-----------------------------|----------------------------|
| 上田三三生 大専門 (1951) 2009.10.9 | 猪原 義寿 短期 (1971) 2014.8.17   | 眞島 修意 修士 (1960) 2015.1.5   |
| 経塚 淳 大専門 (1943) 2012.8.26  | 福田 安史 文学部 (1984) 2014.8.20  | 泉 敬止 修士 (1975) 2015.1.8    |
| 小林 法道 文学部 (1971) 2013.1.19 | 前川 賢 文学部 (1966) 2014.8.20   | 東谷 正弘 大学部 (1951) 2015.1.9  |
| 木村裕美子 文学部 (1978) 2013.2.26 | 青山 純 文学部 (2005) 2014.8.23   | 佐々木昭立 短期 (1966) 2015.1.10  |
| 松原 譲 大専門 (1950) 2013.12.21 | 礪波 恵真 博士 (1962) 2014.8.24   | 片岡 了 修士 (1962) 2015.1.12   |
| 唐川 越雄 大学部 (1953) 2014.1.31 | 蓮本 了典 大専門 (1948) 2014.8.24  | 森川 滉 短期 (1954) 2015.1.13   |
| 溪 理 大学部 (1953) 2014.2.16   | 飛鳥井寿磨 文学部 (1956) 2014.8.25  | 横田 恵 博士 (1961) 2015.1.13   |
| 田中 俊正 短期 (1968) 2014.3.5   | 石川 易 大学部 (1953) 2014.9.8    | 大清水 彰 文学部 (1972) 2015.1.16 |
| 潮留 寛志 文学部 (1959) 2014.3.8  | 酒井 祐静 大学部 (1944) 2014.9.12  | 玉井 覚昭 短期 (1964) 2015.1.19  |
| 誓山 邦雄 文学部 (1961) 2014.3.11 | 落合 一之 大学部 (1950) 2014.9.15  | 大屋 憲一 博士 (1958) 2015.1.23  |
| 荒木百合子 短期 (1971) 2014.3.14  | 河原 治 大専門 (1943) 2014.9.16   | 野呂 信城 短期 (1955) 2015.1.25  |
| 福沢 昌弘 短期 (1981) 2014.4.5   | 池永 善榮 大専門 (1948) 2014.9.20  | 岩田 常照 修士 (1977) 2015.2.2   |
| 寺西 玄猷 文学部 (1957) 2014.4.19 | 井上 昭英 大学部 (1951) 2014.9.23  | 北原 致 修士 (1986) 2015.2.9    |
| 桜井 徳良 文学部 (1963) 2014.4.26 | 野原 静照 大専門 (1942) 2014.10.1  | 大澤 順英 大専門 (1946) 2015.2.10 |
| 今井 文英 大学部 (1952) 2014.5.6  | 榊原 融 文学部 (1960) 2014.10.6   | 杜多 泰英 文学部 (1966) 2015.2.11 |
| 瀬辺 淳茂 文学部 (1959) 2014.5.11 | 草間 文秀 大学部 (1941) 2014.10.14 | 高木 華世 大専門 (1942) 2015.2.12 |
| 土井 信英 修士 (1962) 2014.5.11  | 塚本 清夫 大学部 (1952) 2014.10.14 | 三浦 了信 文学部 (1955) 2015.2.19 |
| 堀部 知守 短期 (1961) 2014.5.17  | 堀川 道雄 文学部 (1953) 2014.10.17 | 小原 意誠 大学部 (1947) 2015.2.22 |
| 浜田 耕生 大学部 (1946) 2014.5.20 | 法隆 治緒 短期 (1959) 2014.10.25  | 香城 哲隆 大学部 (1950) 2015.2.22 |
| 井上 薫 文学部 (1973) 2014.6.3   | 藤井 淳 大学部 (1951) 2014.10.28  | 広端 正文 短期 (1971) 2015.2.25  |
| 小笠原竜城 大学部 (1943) 2014.6.9  | 石井 圓諦 文学部 (1969) 2014.10.30 | 秋月 亨観 文学部 (1966) 2015.2.27 |
| 鷹阪 信明 文学部 (1971) 2014.6.13 | 宇陀 優子 短期 (1983) 2014.11.20  | 常塚 紀 短期 (1960) 2015.2.27   |
| 高山 大蔵 文学部 (1961) 2014.6.25 | 成瀬 得雄 短期 (1956) 2014.11.22  | 藤波 皓陽 大予科 (1944) 2015.3.3  |
| 東階 文雄 大専門 (1942) 2014.6.26 | 原 義昭 短期 (1954) 2014.11.22   | 澤 俊明 大専門 (1951) 2015.3.11  |
| 隆 義洋 修士 (1967) 2014.6.29   | 高木 元徳 文学部 (2011) 2014.11.29 | 黒坂 方雄 文学部 (1957) 2015.3.21 |
| 大高 真洋 文学部 (1955) 2014.7.9  | 秦 信寛 短期 (1981) 2014.12.2    | 渡辺 哲雄 大学部 (1948) 2015.3.27 |
| 大江 考祥 大学部 (1941) 2014.7.10 | 中江 恂教 修士 (1971) 2014.12.11  | 里村 紀元 大専門 (1946) 2015.4.3  |
| 青山 善教 大学部 (1953) 2014.7.17 | 山崎 賢静 大学部 (1949) 2014.12.16 | 藤棚 壺昌 大学部 (1951) 2015.4.12 |
| 横超 大雄 文学部 (1953) 2014.7.19 | 柳梅 智昭 文学部 (1966) 2014.12.27 | 谷 眞理 博士 (1978) 2015.4.16   |
| 蓮容 俊 文学部 (1966) 2014.7.20  | 中村 秀雄 文学部 (2003) 2014.12.28 | 朝日 正芳 大専門 (1941) 2015.6.13 |
| 北谿 陵二 短期 (1967) 2014.8.4   | 新田 義雲 文学部 (1957) 2014.12.31 | 松木 道夫 文学部 (1958) 2015.6.21 |
| 三那三秀亮 大学部 (1953) 2014.8.11 | 小林 尊彦 短期 (1976) 2015.1.3    |                            |

## 「一つの言葉を互いに共有すること」

昔のことになるが、私は大谷大学に入学して1年間、学寮生活を送った。その学寮は大学の敷地内にあった。朝の勤行後には寮生が感話をするようになっていた。自分の順番が近づくころになると、皆の前でどのようなことを話したらよいのかと悩み、緊張感が増してくるのがわかった。自分のこれまでの生き方のことや、今、考えていることを自分の言葉で語るというのは、難しいものだと誰もが思っていたはずである。そのような中で、一人の寮生が登場した。「心に愛がなければ、どんな美しい言葉も、相手の胸に響かない、聖パウロの言葉！」と言ったまま、壇上を降りていった。それを聞いた者たちは、手を抜いたというか、名言なのか、その奇抜な感話に驚かされた。その寮生が感話に用いた言葉は、早朝のラジオからいつも流れている言葉であった。



大谷大学教授  
(仏教学)  
一色 順心

2年ほど前、京都市内の大規模病院に入院療養す

るという経験をした。今もその病院に通院を続けているが、病院の出入り口付近の壁に達筆の書が掲げられている。「歩み入る人にやすらぎを 帰りゆく人に幸せを」というものであった。病院を出入りする際には、横目にその言葉が入ってくるので、この言葉が気になるようになった。それは、病院の「標語」と記されている。この病院には多くの通院患者が訪れてくるが、迎え入れる病院スタッフの側からは、その人々に「やすらぎ」を与えたい。そして、送り出された人々には、「幸せ」を感じさせたいというのである。健康な時には病院通いなど他人事のようにしか考えていなかったが、病気を患って診察を受ける側になってみて、あらためて病院スタッフの人々の懇切な接し方に触れることができた。また、そこに関わるスタッフの人々の働きぶりを見てみると、チームワークの素晴らしさとその大切さを感じるようになった。

「やすらぎ」と「幸せ」は、誰にも与えられるとは限らないのだが、一つの言葉を互いに共有していることだけは大事なことだと思うようになったのである。

## 表紙絵 「花の青春」

50.0×34.5cm 2015年作

「花の命は短くて苦しきことのみ多かりき」これは有名な林芙美子の言葉であります。まさに真に迫る言葉です。仏教では無常つまり常ならぬことが前提にあります。どんな美しい花も一刻であって何日も美しく咲いてくれません。仏前に供える生花も仏を莊厳すると同時に無常を教えるためにあります。人もまたその通りで明日の事さえも諸事情が入り変更せざるをえないことも多々あります。今、保っている身体さえも先が見えません。私たちはその日その日のことのみにあくせくしていることが多いですが、生死の一大事を知らなくてはなりません。

世阿弥の『風姿花伝』はわが国では口伝秘伝の伝承芸能のため、数少ない芸術論ですが、その第一章には年令ごとのしなければならぬことや意識の大きさが真実をもって述べられています。七才から始まり二十四、五才の頃には「人も讚め、名人などに勝つとも、これは一旦珍しき花なりと思ひ覚りて、得たらん人に事を細かに問ひて稽古をいや増しにすべし。されば時分の花を誠の花と知る心が、真実の花になほ遠ざかる心なり。ただ人ごとに、この時分の花に迷ひて、やがて花の失するをも知らず。初心と申すはこの比の事なり。」また五十有餘の項には「麒麟も老いては驚

馬に劣ると申す事あり。さりながら誠に得たらん能者ならば物数はみなみな失せて、善悪見所は少しも、花は残るべし。(中略) 誠に得たりし花なるが故に、能は枝葉も少く老木になるまで、花は散らで残りしなり。これ目のあたり、老骨に残りし花の證據なり。」これらは現在は十才以上遅れているように思いますが、ただ能だけでなく全てのことに繋がっています。若い時代は若い時代なりの努力と意識を持ち、年令を重ねれば重ねただけの心構えが必要と考えます。釈尊の言葉に「熟した果実は必ず落ちる」それが道理です。またスッタニパータ(ブッダのことば)147節では「目に見えるものでも、見えないものでも、遠くに住むものでも、近くに住むものでも、すでに生まれたものでも、これから生まれようと欲するものでも一切の生きとし生けるものは、幸せであれ」。ついこの間まで新鋭と言われていたような私も老境に入ってきました。この幸せであれとの願いを絶えずもってただ独り歩むべきと思っています。

畠中光享(1970年文学部卒業)

日本画家 大谷大学非常勤講師

2015年9月19日発行

発行 大谷大学同窓会本部  
編集 『無盡燈』編集委員会

〒603-8143 京都市北区小山上総町 大谷大学校友センター内  
電話 (075) 411-8124 FAX (075) 411-8157  
振替 01020-9-20542

同窓会ホームページ <http://www.mujiinto-otani.org/>

E-mail:kouyu@sec.otani.ac.jp

『無盡燈』の題字について 親鸞聖人の真蹟の坂東本『教行信証』から集字したものです。『維摩経』に「無盡燈というのは、たとえば一つの燈をもって百千の燈をともしようようなものである。冥やみがみな明るくなるが、その明りはついになくなることはない。…説かれた教えのとおりにみずから一切の善いことがらを増しふやす。これを無盡燈となづける」とあり、先輩がともし続けた伝統に輝く燈の名に恥じないことが願われています。



大谷大学同窓会  
facebook

フェイスブックを始めました。  
ぜひアクセスしてください。

<https://www.facebook.com/mujiinto.otani>